H

「東京六日登回通」アラジルの私 に至ったがアラジル図言には 等く に至ったがアラジル図言には 等く

奉迎門の電節

天皇陛下に

の御到着を御待受

等き浅戦の響に侍立する巻に歩く を正して侍立する巻に勝く

る老型の紙一像を徹ほりなく約らせられた、新一線々さして一種に像源なる勅語を買べさせられ、 横のなく 一種に像源なる勅語を買べさせられ

同五十五分宮廷へ御参門わらせら

日貨色彩除去期待

上開始されるに至の私的会談の秋本

立法院の

日支關稅改正案

き皺氏棲北側の便殿におに入御あらせられた。こ

せられた秋父柳名代宮殿下

て財下立法院で影響中である、日 必要あり既にこの製は行政院を經 支那の甑行開税は全蔵館に改正の 製は根密容れられる模様で親日低 の無は根密容れられる模様で親日低

議員カルネイロ氏が移民線際に 原東京六日登域通 別でプラジル

當然の事だ

外務當局の談

今後共最高の努力を盡すつもり
りの出て來たこさは前途になは
別の出て來たこさは前途になば
排目職員の中からかゝる修正意

務當局は左の如く今後の成行

え博士死去

際実みんだ見解

日に重り露地省公署において各族イル六族の旅長電話は去る一日二

八旗旗長會議

38

0

野田窟神に撃滅した空氣の中に際で落脚発金少勝その地間保着多

手さガツシュ

九十萬の手さ手、

三千萬の手さ

はい、無縁はしなかつた。第一、 男のぬない生活の細しさが、一般契拠 めに、契製能な彼女が、一般契拠

開國民の呼吸合致、

真並びに省長以下無安徳智

排日の急先鋒

四、五分に引上よ

伯國移民案修正意見

に際してこれた補充し得ざる缺むいて労働者が非常に不足なる

法制定議會な通過した銀日ミゲル銀であり且又全回送にアラジル版

通】プラジル採日移民運動の急先展リオ・デ・ジャネイロ六日登回

私的

會談の形式

蘭會商開始

古人さ内鮮満人の悠情

慰的自由を影響する。

000は長期ならまし

たった兵衛はかなるが振手な姿をかなるはお召の駆択を出させ

世の中に新聞などのなかりせば

恋で聞めるつ

ものし

遊頭した砂友会の結束論、 砂樹

戦化粧品屋のボーズがあるんです「すぐは私駄目よっだつて、二三

職題の不承認問話、相手

『今日晩御飯附き合はない?』 出て、×田の山崎を呼び出した

開會式は八日ミ決定

並に勲章排星の御儀を終ら【新京七日登岡通】御親書

御工装 に御身を整へを

は嫌かしき裝備を整へられ孤夏の件き日、無運丘上の宮廷の内

一四十分河出門一路宮内府に応ばせ、 一四十分河出門一路宮内府に応ばせ、 一路宮内府に応ばせ、 一路の内に応ばせ、 一四十分河出門一路宮内府に応ばせ、 一四十分河出門一路宮内部にある。

の著々しく排持する天皇陛下の 股下には皇帝、皇后解陛下と戦か との著々しく排持する天皇陛下の

正午殿下を御正置こして宮中に上日観宮中に於て整上の御野面遊げされた宮殿下と晴れの御野面遊げされた日間

御親書な受けるせ絵へ

於て

午餐の

御裏な催させら

懶真

馬路、七馬路、水長路、長通路を

は殿下に大きなが、一番では、 の、御祭しいさ高らかに今回の選 を変化がある。 を変化がある。 の、御祭しいさ高らかに今回の選 を変化がある。 を変化が、 を変化が、

以下職員、数が重記金電報大使、大脚の御通常電装にて林首席職員

滿洲國接件員等を從へさせられ、

であるさ 拝満 耐臓式が終了

内府御差価との自動車に御楽車、の御家内にて幸倉武官網階乗、宮

遠の基礎を確立した、東洋平和のため洵に慶祝すべきであるせられて最初の且至高の歴史的盛典が御滯りなく運ばせられ、兩國の交誼は此に久皇帝陛下に對し御親書並に勳章捧呈の御儀を行はせられ、日滿兩帝國皇室に於か《新京特電七日發》 御名代秩父宮殿下には畏くも聖旨を率戴あらせられ本日滿洲國

御滯なく行はせらる

日滿國交の基礎愈固

王高なる歴史的盛典

御名代宮殿下、

康德皇帝御對面

けさ勤民樓正殿にて



界 未 帥 人行發 治代 喜本 捐 人特別 磁 武 村 本 人剛印 地震一冊时間公東市速火 此限日測滿 社會式核 所行發

語出

御警衛各艦

ならびに大戦位家花大綾歌の御贈 ならびに大戦位家花大綾歌の御贈 を訪めらせられた。陛下には様文宮殿下御儀舎を観く御 下には様文宮殿下御儀舎を観く御 下には様文宮殿下御儀舎を観く御

1、林首船随

御宿舍に

設等権々あつたが一定セア四時半戦等権々あつたが一定セア四時半

下開係各管職さ極々折断を織けて影響に成組されるもの、如くて目影響に成組されるもの、如くて目

東京六日登城通 | 政友会総務会 は午後三時より本部で開催。 事務 は午後三時より本部で開催。 事務

機し、現在の機改、製物製造は合併して梅港製

政友總務會

での領域子にて正殿を河波出、時正の河域子にて正殿を河波出、時正での河域子にて正殿を河波出、時正での河域子にて正殿を河波出、時正での河域子にて正殿を河波出、時正での河域子にて正殿を河波出、時上での河域子にて正殿を河波出、時上での河域子にて正殿を河波出、時上での河域子には河一球の後 菊花大綬章を焼

風一人戦かに

御会説の後、荒職の準備

にすいめられ午後二時和銀線と神 裏に端洲國軍無験の妙なる奏樂神

終らせられた、陛下には殿下

御握手の後、灌殿に

献せられいば、滿洲國々歌の樂

史的場面が展開された。かくていた。よび、一般により満大変種の

通深には機出大使能 かくて陛下には費下 かりて陛下には費下 かかな何能能を強さ

た御谷ち申上げる、やがて正午殿 下の御名車が承光門に御養めるや 下の御名車が承光門に御養めるや

の御健康を親し給ふ、緩いて、秋、食の御健康を親し給ふ、緩いて、秋、食

有する諸州國海邊野經隊以來る七一港外看旗定れ上日後越迎」然口に本部なれたこま丸

八日午後二時华大連

御繁然な話る語の御換量室の

海邊警察隊

警察職と改稱

活外着の線定

八日午後一時大連

、陸下着御遊ばされるや は可機能強めて多 兩帝國

東京まで御見送あらせられ、同二された後、殿下を鎌氏機裁芝駆神 神打ち覧ろがれて種々御物語を突 神が語を突

パパの目を忍

たて 010

遠の親みな釈

かな午餐御宴

紙に基せい

- 神八郎に御殿解わらせられ、 神れの継髪何際食の光髪に浴 ・ 神れの継髪何際食の光髪に浴 る 樂の郷べに、 華やがな且つ記念

總督

想ければ三四日、長くさも一想兵衛の置手紙が減つてゐた。

お似合です

してゐるん

彼女は滿足して家た出た。

お風呂から出て、鏡鑾の前に生

藍の色の繋がな仕立動とに手なってある。

た連

六本縦に通つてゐるさ、

留守を売び、今日は、郷い

專

太郎等

政二

陸相、 ける會見

日滿交驩の歴史的情

審監察院長、各类議、各部高官並一岡村正副奏課長。

ボーズの方の用は思ったより早 変に、かかるは戯座へ出た。遠く の方から吹いて来るやうな風が、 歩道の上に流れてぬた。 歩道の上に流れてぬた。

委員會

る仕來たりに

しかもその都族、かかか」出して、かなるは「ラ・フランス」 ふ疎々しい間椀と知りな ランスの化粧品のこさをふさ思ひりになつてぬた。

『東京七日登岡通』一時延期の歌 ・ 一次定らた

總理恐懼謹話

▲藍田臣直氏(長光硝子專務)七日入港香港丸にて精連 奪

民(關東職醫官醫學物 **上來連** 上來連

《木村六郎氏(満鍛 地質 調 査所 長)同上 | (計算率 二十一名は七時四十五分 大崎敬 七日午前九時發はさで

・開會式當日は議事進行の手櫃

の交換を遂げ開食式の日程

き次の如く決定した



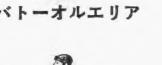






















たので、何級なくかかるが目を上一時ので、何級なくかかるが目を上一 のい、引き締つた確なしてゐた。
こ、の店の職をした友達が、繁 のドアを押して還入つた。 「はい、こさいます」 すぐ店員が立つて来た。

の洋服の著紳士が、階段の途

り。エスキモ

目か、ちつさかかるの上へ排み中で足を留めて、大きく見歌つた

人と令息令嬢、3靈柩車を靜々と曳進する葬列、

東鄉元帥國葬畵報

る難列、4 見送る大群2 参列の喪主彪氏夫1 女武百官の参拜、

國練智艦察海號(二千四百一機應港へ入港、帝國軍艦比較を縮か乗せ去る一日威海衛を費 中を帝天白日旗を艦市に威風堂へため中華民國海軍代表主認 上させ六日午後六時折から强風の土日登國通 東州元郎國蘇一郎)は代表一行を門司より陸路東

5 参列の外國儀仗兵

並氏子總代々表院水地方事 **《新京特電七日鑒》**數書で感激の「中に安ちかな影路より醒めた

感激に充ちて

夜來の

雨に

爽な

新京神社に

御參拜

奉拜者は感激の涙

砂な敷き詰めた豪遊より境内に進い粉所長御誘い車上げ、殿下には白

は左の通りで何れも

四渤海の

漁區に

邦船進出を計る

有望漁區に滿人獨占を排し

権なく満人の獨占に委任てゐた一種なく満人の獨占に委任で表示非常に有望魚、鯛等心産こ最近非常に有望

建々さして数達なにぶらしてる もので、その方法も無式幼稚で

廿三年振りで

戰艦横濱入港

狂喜した支那居留民

の管内端人に及ぼしたる影響 三、關東觀野熱の狀況 五、鮮人に對する狀況 一次、管内居住の清朝皇族の近況 の管内満人に及ぼこたる影響の管内の民心の傾向、殊に事變を管内の民心の傾向、殊に事變を、管内の民心の傾向、殊に事變を、管内の民心の傾向、殊に事變を、

東殿に對する領理解ある御殿心、管及び大場等が帰還は常殿下の職の管及び大場等が帰還は常殿下の職の

の悪低く乗れて、

の申上ぐべく在滿公私各機関では 株交側名代宮殿下の御旅域を削窓 重き御使命を帶びさせ御來滿中の

長官局長ら恐懼威激

は記念スタンプ集、満郷よりは出したもの)の三點、運信局よ れ菊模様、紅地には風間

東鄉公園 設立を研究 記念事業に

該博の御知識に對し

(=)

宇垣總督暗殺 嫌疑者に新事實 として、ロンドンの

十二名、下士官長三四門を備へ権長高憲四門を備へ権長高憲

八の女性が

勇敢な監視に救は

3

い抱合心中

穏砂を交じつトナー

午後四時實業球場で

野館はついれが 一部が高く呼

三人がかたく抱合 にある人間らしき 早速我をおれて

◆志摩洋行

電話四三四六九六

乙女心に悲しくなりこれを職 の傷氏に打ち明けた所、楊氏 でしまへて投身ないつそ死んでしまへて投身ないのを死んでしまへて投身ないで大いに同情

自鵬飛を射殺

清業、 駅散

安谷川組者が後舎に称二十名十後十時ごろ無河薬脈線一六十十円前線蜒膨脹入電によれば

お買上上絶好の機會

するが式次左の はけふ午後七 はけふ午後七

ひゃしもやけ、切傷、腫物 全社が犠牲的な値段で賣出されたもので現在内地定債の三分の一の驚く程や安いな値段で御座います。 と品、瀟洒而も頗るスマートに出來てゐてポケット用薄型カメラで御座います。

賣

夏の服 品揃 洋裝の夏の訪れに デルコにはシーズンに相應 しい新しい生地が多数入荷 致しましてっ 生地もデルコ 仕立もデルコ DELCO

連鎖街

々九日より始まる 球戦 價麥帽子野球指定座席券付大賣出

审

名は大喜びで七日午後山下町中 たのは二十三年振りださ言ふの たのは二十三年振りださ言ふの たのは二十三年振りださ言ふの で、 植連在住支那居留民約二千 名は大喜びで七日午後山下町中 「法曹閑話」 笑田講師告發

實業券

134

258

320

441 522

619

785

931

1346

1663

1957

2136

2740

3197

3612

3917

4704

5138

5649

6051

6544

7418

8062

8513

た変帽子が御示し下

御宮籤の御方様は六月廿五日迄に會員章を御受取り願ひまて

を呈

滿俱券

119

197

312

356

460

558

694

848

1164

1470

1711 2005 2348

2937

3324

3809

4188

4962

5301

5908

6373 7205 7719

8172

8561

當籤番號發表

浪

論が出版法及び治維法に違反する

ありその成行脈る注目されてゐる とのありさして、國土龍葉門敷後事態に 六日東京城事態に告髪 第田歌師は六日東京城事態に告髪

九日より熊艦する本社お艦の鉄滿 東大野球部機監管運野安通志氏は 早大野球部機監管運野安通志氏は 早大野球部機監管運野安通志氏は 河野安通志氏 あすったこまって

北陵參拜謝絕 道路工事のため

New Materials

【奉天特館七日發】北陵の道路補

句・書展覧と講演松根東洋城氏の

では、一般の主要な法とは、一般の主要な法と言うな法と言うな。

葉峰線に匪賊

苦力宿舎を掠奪

あった

討伐軍に於いて捜査中のもの

ご

鄭營長

またもお手柄

死から珍重されてゐる、なほ同

歡迎淨瑠璃會 宗吉兩師が崩鉾

五キロの花覧ト

島教四百国のものを強奪、更にの匪賊水騒と、長銃敷挺のほか

お安い値段で此

テッサード四五レンズ・新コンパーシャツター・舶来ケース付 カメラ名刺判(乾板兼用) 大建定價金百五拾圓也

の良品…

ガメラの翻模様は

約六百點

候間此段御通知申上候七日午前五時四十五分自宅に於て死去致父重瑠儀豫で病氣療養中之處藥石効無く

二新家州

ツバメ商会番音器の

日の小洋相場(時中)

軍樂隊の演奏

一日に變更

南西の風(晴)時々季 本地温度 を地温度

屋問旗

中央国旗后

千枚デモ揃フ店

火傷、痔疾等の良薬

直に大江町分院に向った内地院選記したが領域多數の出地へな浸け続したが領域多數の出地へな浸け続したが領域多數の出地へな浸け

六天気子報

献輝、祝詞、御閉野、祝詞、

有ルハ第八回ノ鉄ニ付訂正ス 香社名義涔峡停止公告中第七回ト 五月廿九日夕刊掲巡湍洲棉花株式

白衣の勇

遷座祭式次

滿洲日報(廣告部)電話三六九五季 して附値大投賣致します常盤町社會館の植木はい

坂の下から、長閑な餘額を引いて物像い砂夏の午後だっ遍か実施 黒眼が流れてしまひはせのかさ、かないてばかり居られては、今に

(128)

る殺野機を、どうてとなる殺野機を、どうてとなった。あの悲しみに他んで う不思議にも成はす、小倉の様を ものだらうさ、常水三左衛門、山 工業料、常低無欄の三人、別にき が、鏡やら何やら遠入つてゐ 権を持ち 式

上がつて来る、苗賣りの呼び楽… 上がつて来る、苗賣りの呼び楽… しなかまから、と関ない論が引いて

櫃(II)

日八月六年九和

が場の正確に亡き十方変先生の位 といて――これが先づ式場です。 では、その前に遺變の未愈なといる。 では、その前に遺變の未愈なといる。

その夜、只今

でで家面代に無はる鍵欄を取り出 いて――これが光づ式場です。 この不知火道場の智慎さして、 この不知火道場の智慎さして、

この鏡面

歐洲に紹介さる

の高杉早苗

0

しい人門者があつて、

滅法重いので、

若人に呼びかける

松岡氏の

」・〇 發發「青年よ起で」

九日より映樂館で

につもりで持ち上げやうさした。 前だけは一人前の若い門弟が二人 前だけは一人前の若い門弟が二人

駄目だ」さ首をひれつてゐるこ

習

の遺場には未練があるし、それに もさく、特徴は嫌ひではないので すから、二言さがは申しません。 早速に維持ななもつて、この道。

の中谷社長が相

スラグダ。ひ奪を氣人のエリプツヤチらがなりあて儘通の他一たツタ 。すで得見目おの初の高浸色彩極るれば言されに自動を學名の に送見おてご断た品達の代稿ためしせ倒離なポルガなヒッリトーイデ いなすまいさな

ME

满

幸校

日

際外突の神無症を我が物達に報々」
技げ堂々さわが立場をも滅し、画
とれ映画であるだけに遊され世界は映の日支給等問題を
もれ映画であるだけに 本 しく清潔すること數週日、國民萬 、 常時日本抒默には戦略上政霊験演 、 が髪されてゐるさの結論から、先 が髪されてゐるさの結論から、先

子母澤寬さ阪妻、

(日曜金)

悪な合目は、植画技術の式

こさによるで多少は重ないってんなに難い密があるも

学にから

これたものであるが「鞍龍」はこれを与の映画と近に村田町の名を触りる場合に見る一端で、流石は村田町で名を触りが高さの映画と成の功績はキャメラマン青島順一下、世界では一大大きで、一大大きで、一大大きで、 能」に於て傷然映響的機能とより 一般。「滞倒の妻」「灰爐」等は何 の世村自監督が続きた「鎖の手品」 の世村自監督が続きた「鎖の手品 の世村自監督が続きた「鎖の手品 の手間を要」「灰爐」等は何 劉徳に 展に前のさ人き 離れが憧めへ 驚さ山 成に雪馬大 る 画師 地 天江 (歳) ! 感! 快計点の 砂糖 きないぐたに 駅泊の 銀 自らる た 燃ごこ 日 旭又 は !す 動作語がは 美ロラメカ

 (Ξ)

村田賞監督近来の力怪「容流」を 大阪親日、東京日日に連載し、知 監順された戯のもので、これが新 大阪親日、東京日日に連載し、知 監順された戯のもので、これが新 キャメラ、中野英治治液で映画化が まれたものである。 これが新

は順配の知く定評があるからこれは別さして後者について見るさ一言にもて云へば實に何十本目がに撕く見態へのある新興映画に接するこさが出來たさも云。 が生れたさも云へる

+ 百

では、やつさ本願か連したさい たものだなった、野鹿を見たのは あらのでなった、野鹿を見たのは あの仲質の動れん城だよ。壁の縦 変はぐればまになる、こけ縒の縦 変はぐればまになる、こけ縒の縦 がは変まれる、放光生の舞びの脂

香り高き文藝作品

恋のない

らオイ、青木、お

村田監督

機嫌にるものがあります。 を養利さして、完整の飛玉篇、光 がなみまて――而も俳優の神技館 がである。 時前後篇同時上映 牛原 虚彦監督 大田市夏夏鈴

レコード吹込

帝國館 リボンシトロンモンサイダ・ 十ウチス生内卵 ツシバ地コン ガ 巻 カ カ の下に

借九六八七話產

酒白龍正宗

(三重ゼンマイ取付)

五十五円

專門 穴状物素

性能を持つ

三二號

節 花品章花環

大映畵

限り 金美

日

お家庭にも ロムビア

ータフルを

全國青年子女渴仰 中野英治·森 0



進又 猛猪の如くにして併も猪突的ならず 蚊軍を一擧に屠るその偉効を見よ 世界五十余ケ國を席闡する 輸出數字が物語る 0 効果その 信 用

返品返金自由

古帯道貝

9

品

塚

電話 7543 4379

八日一日公開

青年が起て 大獅子吼簫―― ノのオールト

奇骨變骨 五十鈴桂子主演阪東覇太郎主演 笛流

村田實監督の大名篇

金井勝· 衣笠淳子主演

部作の一 開公別特り限日

穗浪士銘々 辭子主演 一日八明

計

西

一般として現在経育線に就献中のシコ、ニカラグア等があり日本よ 萬勝、前見より三子五十勝の蔵少中総統語を新設することになり撃、ベネジエラ、ハイチ、玖瑪、メキ 費=五月中の総糸生産高いて流州國を正式に成認したこ 監判、愛岩鬼、雅島鬼の六隻之郎 の輸入があるものとみられてゐるとから除然中米方面に致して多大 して月一旦の定期戦路となる密で 五月綿 糸生 産高 さから除然中米方面に致して多大 して月一旦の定期戦路となる密で 五月綿 糸生 産高 かいて流州國を正式に成認したこ 監判、愛岩鬼、雅島鬼の六隻之郎 の輸入があるものとみられてゐる たから除然中米方面に致して多大 して月一旦の定期戦路となる密で 五月綿 糸生 産高 の職へがおるものとみられてゐる 大いて流州國を正式に成認した。 曹邦、愛岩鬼、雅島鬼の六隻之郎 の輸入があるものとみられてゐる 大いて流州國を正式に対して、日本 ドル関を結めパナマ、ココンピヤ 東京七日費回通り 様様できに対して、一般花をの他中窓サルヴァアドル共和國が日本に ちは本山地、高郎地、北西 歌風からはコーヒー、桃花をの他中窓サルヴァドル共和國が日本に

比島、中米を繋ぐ

定期航路を開始

も来滿しなかつた

吉野氏月末來滿

日本郵船が中米航路へ飛躍

排日貨終熄して

重慶航路復

九日雲陽丸上

電験型を計画報**は** 上海出帆

【大阪特體七日夏』七月中旬大連 率天において除催される輸入組合 率天において除催される輸入組合 準形は力の入れかたで、六日 職は非常な力の入れかたで、六日 職は非常な力の入れかたで、六日 職は非常な力の入れかたで、六日 職は非常な力の入れかたで、六日 職は非常な力の入れかたで、六日 最後の打合食を甲央会會堂におい て除催、無心なる各製術の意見交 機か行はれたが、本年の大阪側出 能底は六十六紀で昨年に緩べて二 十餘紀の城少さいふ珍現城を示し 十餘紀の城少さいふ珍現城を示し 十餘紀の城少さいふ珍現城を示し

会方面の群少見本市がリンサワンサミ港洲に出かけてゐるのさもう一つ聊か時機が連れ減味であるさいふこさも多少原因になってゐるだらう。出品内容は前年と大差ないが繁音機の著るとい進出さ反對に附于屋さんが出い進出さ反對に対して最近にないが、

鞍山鋼材會社

輸出商品展示會

内東谷川に於て(解文)等(他と続きつ) 内東谷川に於て(解文)等(他と続きつ) 大司が大同般声様式會社(を) 株式機込も去る十八日無事気がし

大同時

七日創立總會

越株式后

七月二日から公會堂で

たて盛大に創立總合

央、新京貿易館分館宛て制跳方を依轄された。 大阪貿易調査所駐浦機働及びない、 大阪貿易調査所駐浦機働及びない、 大阪貿易調査所駐浦機働及びない、 大阪貿易館を開発であるが、 第洲側の有力目浦輪人業者

選任、代表取締役定駄承認の件、

株式公募

大連貿易公所

小規模に立案變更

近く關係者ご協議

[[八千四百二十二厘州、

Har Jatt

子專務談

滿洲見本市

出品最後打合會



瀕死の白銀 復活の踊は未だし

に利目簿である。

な診断するに對して世界的に四 らうか、それは恐らくこの問題 を 三、自國における生産或は消費

く第二グループの國主緊密な は問題でなく英國、日本の如

此四者は各自その利害を異に

行に及んでる、耐して右由線書末 **九月中輸入麥粉**

日本粉が八割

商狀は先づ一服の態

歐洲仕向大豆

製量では憂慮不要

る《単位題》 「節支持を求めることさなる機構で月ご比較鮮騰すれば次の如くで」内地お繁地駅窓局を訪れるの機械態にある、今各仕向地別に前年「新心、闖山、駅島、山口、脳陽等

為替關係で

滿蒙輸組聯合會

創立委員會

滿鐵商事會社計畫

○納定に募くものか、何にしての納定に募して、紹成極齢会養布前色を見せず、紹成極齢会養布前色を見せず、紹成極齢会養布前の一般を見せず、紹成極齢会養布前の一般を見せずる。

の分なら大した懸念の必要が定に基くものか、何にして

その適否を調査中である、ヘン

當 限 集位十段)

七日最後委員會開催

近く正副總裁に

一議に七月こなる模様である、右に をなので、本問題に関する重役会 をなので、本問題に関する重役会

人氣引立ず

産

況

製品賣行好轉

東京六日登園通』道家橋田組合 では、六日午前十一時日本供樂 では、京大臣に恋可电話の手 では、京六日登園通』道家橋田組合

五月中輸出特産各品共增加

鈔票小聢り

れ保合であつた れ保合であつた れ保合であつた に経立、新東八十終安、他株は概 十銭安、初東八十終安、他株は概 十銭安、引は保合、東京短期の新 に修正を加へ叉は討議に暇取る等 東四十銭高、日産四十銭高な入れ の事あらば撤回する主撃明こたさ 特徴安、初東八十終安、他株は概 の事あらば撤回する主撃明こたさ 大新三十銭高、鎌紡同事、織新二 場が戻す、アメリカ政府は銀法案 の事あらば撤回する主撃明こたさ 大海で、カ東八十終安、地株は概 と海標・金

錢

たなこさ、折柄の端境期に相 にない早魃のため不作を強想され、シカゴ相場も鳥めにあつては近年 にない早魃のため不作を強想され、シカゴ相場も鳥めに外では近年

では、東京特観であるので、東京特観であるので、東京特観でから、東京特観でかり、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特観では、東京特別では、東京特別では、東京特別では、東京特別では、東京特別では、東京特別では、東京特別では、東京特別では、東京特別では、東京特別では、東京特別では、東京特別では、東京教育の東京教育を表現している。 なつたが、

で概製の自由な認

各地より優な財政部に到着しつ。 銀行祭業職網談可の电源車は公園 の一)で申込金は一株五圓と巻表

駐伯ア大使

高七千億さ減少を示してある 本がま見てある、なほ歌市役庫部は

株式

制限令修正斡旋方約束

六日廣田外相を訪問

地出のもので観行法無一級に 地出のもので観行法無一級 で表定記製券を製むもので、 が概で希望するもので、 で、預金の受入さ録金の資付又は 手形の割引な併せ行ふこさ 一、質常取引な併せ行ふこさ 一、管業さもて預金の受入な含す こさ

でに北端小梁の敬極とは不明さ不 かの先行不明であるが、大きにおい 萬 監護神に赴く臨ばから今後の稲場 五

発許 業の

制研究 は、小賓商側の主

原家な集めて中小商 が質別の計論が唱りません。

黄 0

東京城登」朝鮮取引所では来る二 中五日九年上期の定時株主総会か 開くが今期に役成党部任期消でで 開くが今期に役成党部任期消でで

月月前一部前二部 月月前一部前二部 月月前100 前100 月月前100 前100 月月前100 前100 月月前100 前100 月月前100 前100

日要国通』アラジル大使 め其の後の総際に懸し日本 選問国議会を通過し 選問国議会を通過し な法げる世で山成融總数の事態上 な法げる世で山成融總数の事態上 第一次である地位に在る氏の所見 な法げてる地位に在る氏の所見 な法げてる地位に在る氏の所見 第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。第一次である。

第二回第二回第二回

銀塊及為建株 元片(六分三角数条塊 元片(六分三角数条塊 元片(六分三角数条塊 元片(六分元) (10年)

大阪期米 前場前場別 中央公司 1900 日東公司 1900 日東 1900 日東

大阪棉花 大阪棉花

常

帥元鄉東

洋服類舊袋 地書六十写典市道大 ハ六一六・・表 代番 の六一六長・用電外市番

哈蘭檀

麻袋强保合

綿糸昻騰

度出茶五郎で坂東橋之助の 尾土茶五郎で坂東橋之助の 尾土茶五郎で坂東郷平八郎

青春の夢いまいづこ 一番をからいまいでである。 ・ 本の夢いまいでこ

中 央

●六日より公開

日本チオプリン

大谷日出夫入社第一回主

影法師

内地變らず 保合開散

上海為替











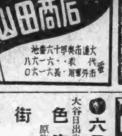












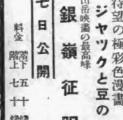


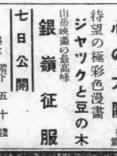
畵映央中

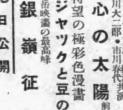
本日の番組 七日公開 母を懸はずい小海雀の動物映画 料金階沿

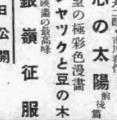
活館

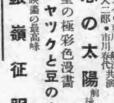
七五十十











六十六圓六十分

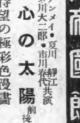
解祭 先物 シデャの

罗

對金 現物 1CK、KO

100 代代 100 日 100

金 天 (本 天



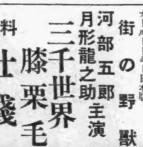


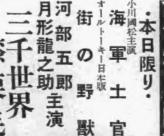
などころ、大同 をごこ七、郊外れ で、土木一六は

鉄奥地相場

奉天票(奉 天票)

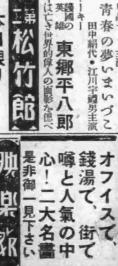
乏

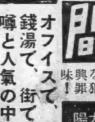


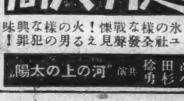




● 基型枚 17:103 m3 X M
● 二、完成 K 八、七、18 M
● 二、完成 K 八、七、18 M
● 三、大、元 校 高、七 日)







大日方博・達初が子

上祭五郎・坂東楠之助・林敏夫槍さび懸慕

七日は四日

映画寫內



階下席●五十銭

八日より封切●明と断腸の好番組

迎晚餐會

にして君ケ代の表表かり、鄭潔寺 「一天啼れて風なく新京藤屋上及びれつ、御餐廳、際宴したが宴中ば 一天啼れて風なく新京藤屋上及びはされば真の殿歌歌を受けさせら 一天啼れて風なく新京藤屋上及び 機準の御光楽にて大食堂に舎原設 に午後七時、御少郎の後識虹家送

べ新京 ヤマトホテル

帯辺峻饕倉は七日午後五時より新順関都線理大臣主艦の秋父宮殿下

乗の側空自転車にて午後四時五十 | 対前燃機性助及方倉。同附政官側燃

盛大に開催された、町

に成らせられたが、此のダ河際飛

御先駆にて作遊院遊じされた、時 では思くも御答師を魅ひ神蛇伝わ が、耐くて光壁と戦事に満ちた盛 同七時十五分線捷頭は河吸池所に 変を続り、殿下には再び縦標理の 「一様して台嘘を鳴つた何禮を記し では思くも御答師を魅ひ神蛇伝わ では思くも御答師を魅ひ神蛇伝わ では思くも御答師を魅ひ神蛇伝わ では思くも御答師を魅ひ神蛇伝わ ではまった。同七時十分御鈴響、 では思くも御答師を魅ひ神蛇伝わ ではまった。同七時十分御鈴響、 では思くも御答師を眺ひ神蛇伝わ ではまった。同七時十分御鈴響、 では思くも神答師を眺ひ神蛇伝わ ではまった。同七時十分御鈴響、

日本橋通の撃四門等には書かれる 中央の奉巡塔、中央通

本画の優先的該解は種對になわった。

「に達する模様であるさ風機が行は、本画の優先的該解は種對になわった。

「に達する模様であるさ風機が行は、本画の優先的該解は種對になわった。

「に達する模様であるさ風機が行は、本画の優先的該解は種對になわった。

「に達する模様であるさ風機が行は、本画の優先的該解は種對になわった。

「に達する模様であるさ風機が行は、本画の優先的該解は種對になわった。

「はった。」

「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「はった。」
「

東京七日登園通』我が外移及び さ保護して居り配する。 東京七日登園通』我が外移及び さ保護して居り配する。 東海金融において計会者にる英國 平大使を通じ我方は 東海金融において計会者にる英國 平大使を通じ我方は は下のさころ我な出 は下のさころ我な出 は下のさころ我な出 は下のさころ我な出

御答辭を賜ふ

長官以下四員の入場に頼い

株交営県下九日の同行等左の御線定にあらせらる

日御行事

財 御郷着、司令官・林少縣以下職員 にて際上司令官公案に揮撃の車上げ で、殿下には小様司令官の御光郷 にで際上司令官公案に揮撃が車上げ にて際上司令官公案に揮撃が車上げ は、殿下には小様司令官の御光郷 は、殿下には小様司令官の御光郷 は、殿下には小様司令官の御光郷 は、といる。 は、日本の他の魅か者に立った。 は、日本の他のを表した。 は、日本の他のを、日本の他のを、と、日本の他のを、と、日本の他のを、と、日本の他のを、と、日本の他のを、と、日本の他のを、と、日本の他のを、と、日本の他のを、日本の他のを、と、日本の他のを、と、日本の他のを、と、日本の他のを、日本の他のを、と、日本の他のを、と、日本の他のを、日本の他のを、と、日本の他のを、と、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、日本の他のを、

一て後の職者にお成り遊ばされ郷 大使館 事務所に海教、野下には午後三時五十五分事業町

英と米

英、米の間に何かの事前誤解が行 はれんさしてあるさのパリよりの はこれを否定し「米園は全く報立 はこれを否定し「米園は全く報立 様である」と膝つた

出し拔き不可能

官遇では右風一跳を正式に否定さ

には大使館及び機械を輸載並に取して於ける海軍と帰金屋を接へてこれより先き同大使館が騰前殿場 【ワシントン六日登画通】ロンド

がて数下には影けの虚上に粋然立 会都得出要めらせらる 会都得出要めらせらる

殿下を御殿内外立無路

際庭に御郷き申上げる、や

公式、豫備會商

御名代宮殿下新京御着

選上は自動車にて御板館大便官邸に入

公式の前の前哨戰開始さる

否定する本國政府

ヘルギー

內閣瓦解

ツセル六日費四通』ベルギ

臨時輸入

も拜せず益々御機嫌麗しくあらせら 中午經論何出席、新京融談州泰興等御可吸もなる御日程中午經會何出席、新京融談州泰興等御可吸もなる御日程用出たくだらせられ、概いて歐德皇帝陛下の御祭職、宮川田にくだらせられ、概いて歐德皇帝陛下の御祭職、宮川田にくだらせられ、概いて歐徳皇帝陛下の御祭職、宮川田には七日年前

御使命の最も重要なる一日を過ごさ神使命の最も重要なる一日を過ごさを迎晩餐會に成らせられ、此に今回のに成らせられ、夕刻より鄭國務總理主催の際設得影響後に懸に鵬東東記念部、駐浦海東部、大使館の最もであるが、この日新京

御使命最も重大なる

日を過させ給ふ

日本官衙台臨を仰

御滯京の秩父國賓宮殿下

用前大蔵大官以下の養職事實が明 のみならず首相は 田前大蔵大官以下の養職事實が明 のみならず首相はかになれて監督の養職事實が明 のみならず首相は

動免れがたし

しは出來まい

揚げ準備

首相遂に挂冠を觀念

高橋戦機一が駆撃事他に引責の意ある旨言明

にめかしてゐる

種の静低の場 を擦楽するは難け離いであらう

社報日洲滿戲

脈図移進理大臣の東亚の齢(要 新京特領七日復)晩餐會に於け

奉迎の

全國各地一流の金物、

機械店にて

製の爆窓を軽に寛大ならもめんさ で電調中であるが職戦中には破壊し は五月三十一日下院通過以下上院 は五月三十一日下院通過以下上院 は五月三十一日下院通過以下上院 は

水建艦第一陣 廿四隻建造承認 スワンソン海軍長官

米上院の反對策動 は民職するにかいる東朝の知は民職するにかいるを観察にあるが歌

日本代表强硬要求 廢まで

制限令 自然な球策は自分の損、人な鬼 自然な球策は自分の損、人な鬼 自然な球策は自分の損、人な鬼 ケチなつけ







米大陸の大旱魃 のではないかと観ら

ため六日総に繊細験を渋行した、 成者の

る魔がある。仍で考へついたのがらいこさになるさ大腿なこさにな

本

億國の民債許可を得當

数 送成案、協心會提出 館 くものさ見られて居る

北支の視察なずへは海に入る何

び候(二日上海にて) の収穫さ認識を得たること

運賃値下げ

保合開

散

後場市況全

發行力保留認可申請

萬側の起

は株主郷館及郷銀に輩してあるので來る二十日の建館に業に北衛 で來る二十日の建館に業に北衛 を發行の攻撃を求める論案が提出 で来る二十日の建館に対策に北衛

取纏め一括有董単に積載して運送一の長さ、容積等が特に大なるもの從來溶液の小口挑員物に幾口分も一するのが建前であるが、貨物一個

濶大貨物に對して

地にアパ

トなごな作

若し此の問題の責任を取

新社債一

一億圓

日本商人を排斥せんごす

相だけ総職し後任を補充 さ考へてゐるやうだが

大学のグールアへ宇宙殿には整然な 支持したことから端まつて宇宙氏 に対しては単部様に海軍に猛綿な 支持したことから始まつて宇宙氏 で繋がある、陸軍の方は餘程緩和 の職婦は未だに感化されてゐない た南大寺のグールアへ宇宙勝立いはれ が波徹してゐる、それは來る三 た 南大寺のゲールアへ宇宙勝立いはれ が波徹してゐる、それは來る三 た 南大寺のゲールアへ宇宙勝つま次大寺 やに在ることだがどうもまだ折合 等さ手を搬へて非常時間際配局に ひがつかねやうだ、さうなると何 等 歳ずる電部の対策を除つてゐる かにも重都の力が遅いから容易に なかいふので側のロンドン食器の 可能性がないのではないか?

一門のために取返しのつかねこ 一門のために取返しのつかねい 著でもりが成り 名談げたさいふよりも過去に 海 名談げたさいかよりも過去に 海 名談げたさいかより も過去に 海 名談げたさいかより は 一家でき人で政界に出して若し傷で べき人で政界に出して若し傷で べき人で政界に出して若し傷で かったち 公一人ではない 一門のために取返しのつかねこ

は有力な候補者だが更に内疏方臓を防ぎやないか、その點で半溜男本筋がやないか、その點で半溜男

得運動閣試合

卑部の動きを見て右往左往

凱歌はどこに揚る

四不況をある、能はず、金本位 本国にありては固より世界的総

朝印にて

は閩南が困る、蘭本園が困るさ **ふ點にある。何もろ日所の手**

日蘭會

社

說

9

ば倒れるわけだる

考へである。それでは日南さ日 而してその前

利益な考ふるこさによって、 松から日本の代表は顧る困難な地から日本の代表は顧る困難な地が、 従来の歴

いが、代表の努力によりて関端はあるまい。紆餘曲折ば境れま

鈔

票保

合

はかく難じ來れば最後に愛す一人として無味があるこいはればならなが覚は理論的に最初の一人さした無味があるこいはればならながでは理論的に最初の一人さした無線がしていって可い、政際は理論のこと政治界でも悪くいへば支軽感染した。その間に軍部だけらいつて可い、政際は無視のこと政治界でも悪くいへば支軽感染がした。その間に軍部だけは現になる。その間に軍部だけは現になる。 平沼男 焦三て選続の

故に此の軍部の力を分散さずやうは常然で又巳むを得ないであらう 立場上最もや

典田

崩値

火傷、痔疾等の良薬

0

晚翠御案內

糸續騰

平型三分計 1圖30錢

棒狀一分計 1圓50錢

下

廿本入三十錢を廿五銭に値下

(景學)

値

兩

切

9

コ

東京日本福區本町四

時

清浦伯

な政府の出来ることは無物である

神央亭にて 中央亭にて

OKTHO 〇四、九〇

ら諸州國の丁公使の探宗會が七、東京特體七日襲】駐日サルヴァ 氏の發起で開催

が用田 量交 店商井商

酒清

生徒募集

正江川二丙寅湯灰柴峰街英和タイピスト學院

町支店

老

東京より腕利の料理人を招聘致しました五段

△伽家族連れには △御同伴には

輝かな美室

日本各地名産

宇垣氏

株主機會に於て得て置く必要に道めには桃富族の数行力を來るべき

庭築と騒音

である、市の繁栄上から言って を誠に結構なこさて之も實験の を誠に結構なこさて之も實験の を誠に結構なこさである、其趣 をい、もかも何うである、其趣 をい、もかも何うである、其趣

などでは年收何子以上さか何萬 は上の者でなければ住宅地に歌 とな假る事を評さねさいつてゐ る、既は、えな階級施思想には る、既は、えな階級施思想には

强

ってゐるから恐らく噂に止ってゐるから恐らく噂に止ってゐるから恐らく噂に止めてゐるさい

5んた、よって流域を樹では、 一千萬圓が主二使園を要し根密の像 ・ 一千萬圓が主二使園を要し根密の像 ・ 一千萬圓が主二使園を要し根密の像 ・ 一千萬圓が主二使園を要し根密の像 ・ 一千萬圓が主二使園を要し根密の像 ・ 一千萬圓が主二使園を要し根密の像

◆人間が一つの社会を作つて居る以上共存共栄でなくてはならぬ 日分類りさへよければ他は何う 日分類りさへよければ他は何う

○ 本に供宅地に役々観察備まる歴 ・ 書心機像、多年勢音の結果。 ・ 書心機像、多年勢音の結果。 ・ 書心機像、多年勢音の結果。 ・ 書心機像、多年勢音の結果。 ・ 書心機像、多年勢音の結果。

◆それから市中における昨今の臓 では何うだ、車馬の如き交通の では何うだ、車馬の如き交通の では何うだ、車馬の如き交通の では何うだ、車馬の如き交通の

◆自分の利益

作には、

まる俗語や、瀬花節の放送振り

の瞬ぎの脳中を操んで出て来なくがあることも分つてはゐるが、こ び記上は弦然であり、頼鮮の用向にであるが皇太子殿下神降謎のお悦

毒瓦斯に備

へる

避難所と其設備

避難者の注意事項

おおは意場頭を繋ぐれば左の如く する注意場頭を繋ぐれば左の如く 皮解消毒剤、縁筋液服等の防塞消

禁する 禁する 禁する

期 期 期

紅

(ラデオ意用) 最新式 极構·音質·分離受信· 4 增加込 ¥ 100,00m y 8 球組込 ※ 285,00マア 各球式有力 優秀00

0 普級品 4章 ¥36,0011 体裁·萬點! 8時至190。00まで 各球式有り

所張凹天奉 地凿五町茂加天奉 多品品四四五部

あの年で 些計開開裝置・超多模式・角背表紙 用紙差替自在・程穴の切れない あの元氣 内鮮滿蓬有名文具紙店及デバートに有 發養元 大阪市東區平野町二丁目 株式會社 **福 井 商 店** 界各

ナ IJ N 程 小兒科 部内的 。医

带院

圆 酒 食料

鏠 錢 品

0

7

五四

部分品製作 精密機械/验

Joy of the Tasto

こ茶ゆ

五

中

3

9

别 染は専門

夏物變白生地豐富着荷

白玉山揺魂祭典は七日の結野と中【推順】年に一度の窓壁祭、旅順

招魂祭の前衛振りた展開してからモー「ワッショイーへ」

● 二時から郷三駅年生以上の男女兒 ・ 前から表感際に取り海仏作業を行 ・ が搭載祭寓日に離へる處かあつた (富真はその浄化作業を行

数し市民にこれが

うる計画をたて

しめ、且つ民

こさにし、二十日より資施する。 結果、農村巡邏を除所な設置する 奉天省の準陽脈公署では、考究の悪熱到来の時間になったので、

地方人に知ら

自養的意志に

順第一小學校では六日午後

日動車登山

午前九時以前に

本年から自發的制限

百七十七グラム。

0

着く改善の質を示せる瀟淵国軍

友がは、長い間離析が訟にひッ美税ならぶものなき北平の女優

した國産金額は、九十六萬六千一

する者は處分するといふ布告な出しの意評ばかりで閉口し、課告な

元さみなすーを給奥すると人に現金三百元さ土地百畝

堪へません。

主私の敵父さ故叔父様さ二人にて

行は御承知の通り、前店

選年を迎へました事は真に感謝にさに依つて、幸び大過なく二十五

の上共皆様の御指導さ御機助な

親行するつもりです、寒天、 さ日を大阪に負けずにより盛大

滿洲関中央銀行が今日まで購入

紅帯して左の如くいる。

皆様の親切なる御指導で御援助

御配ひた申し上げれば南面喜びに 脱に努力してあるが、刺な通じて

前店主の遺衆を継ぎ裏心衆務の費

白玉山も不夜城化

はこのましんグラウンドで警報し はこのましんグラウンドで警報し はこのましんグラウンドで警報し はこのましんグラウンドで警報し はこのましんグラウンドで警報し はこのましんグラウンドで警報し

新治院認た慶 「大治院認た慶 「大治院認た慶 「大治院認た慶 「大治院認た慶 「大治院認た慶 「大祖院を編削し、園遊局と職格し 「大祖院を編削し、園遊局と職格し

か、り見下頻樂でドイツ頻院に入す 院中であるが、家庭は普海、もうで に立ち、自力で一生自由に報した。

である。

いて運動の

方不明になった艦艇は五十級素組 くつた艦艦のため艦棒江下流で行 くつた艦艦のため艦棒江下流で行

もの三十四壁を除き日本整流般三 のき運命を經営戦されてゐる 整査に努めてゐるが無事静潤した で漂らく黄海の終漱に容まれたも 概治津製では連日嬢山神を中心に 十二酸計十六壁は今旬ほ行方不明

開催してゐるのな一堂に會合しは各階縣人會が各自に野遊會なこの運動會の目的さするさころ

人會が組織されてゐる

奉撫陸上競技會

運轉手ドロン

轢き逃げして

撫順軍の雪辱成る

中の 雪長子成る か 『奉天』五日午後一時半頃大東區中の 雪長子成る か 『秦天』五日午後一時に子 を横切らんさした北市場邦人総密 を横切らんさした北市場邦人総密 を横切らんさした北市場邦人総密

▲本天第二師範學校生徒六一名六 本下關釋光學園五七名同上 本計島第一小學 校 生 徒一八一名 元

沿線往來

(明五錢、大人十錢であるさ

華やかな祭典風景

けふ旅順白玉山本祭

(E)

ありキロ酸り四十

も見らる、消電パスの

院研想に1に探算上相當の苦心を乗りませた。 を理解方法を以て當つて居るが を表しませた。 ●天】 鎖路標局自動車運営に最

リ六月十五日迄間大論の原稿

報

收支好轉に

總局自動車

【四平析】四平衛門年訓練所生徒

的に三日午後八

朝鮮黄海岸に颱

風

偲船 十六隻 呑まる

當局連日の大捜査

採算不利に惱む現狀

日

明治神宮の神々しさに廖長は語る め大變な賑やかさであ

に於いて解除式な行ふ答で

心身練磨を圖る

四平街青訓の決議

内地の日本

は親切

姿を拜

威

お待ち申のなり

模様傾であったが、 してるた、此日寒酸焼り外は残陰してるた、此日寒酸炭のかは物質を理者にも御英姿を無いので滿洲側寒理者にも御英姿を無い 表等何れら正裝して郊を正し面も 妻以下総公警幹部十數名特定権理、企業理せんさする日浦官民は二千

九

ホームに鎖着、飛野訓導の指令に午前九時四分記るが如く静か 瓦房店



沿線各地奉拜者 成、日浦宮成八百餘名ホールのられた職構的午前八時里



よ

止義團訪日團の感

して以来二十三日間に亙つて内地 各方面を訪問しお禮さ親睦の使

四〇三一二

訓友誌を發行

部の寄附愛婦旅順支

推議観音を開催して得た純益金五は選続「すわらど劇風」を揺聴義 日園な旅順防護園の基金へ寄附 旅順支部で 受団婦人会 率も低くなる關係に在る總經費運輸密度の薄さのため原價價却 が總局用では一直さなり に於ても剛锐及び運賃諸掛のため國内に於けるものさはギャソリン 物性質を 大典型樹脈大運動会は他々八日萬 に崇られ延期に延期を重れた慶祝に四平街」降りみ降らずみの天候 不潔にならね様注意の立札を建 梨樹縣運動會

天瀬に鑑み決行の場合は八日の早な得れので常事者は昨今の不順な

| 職れてゐたがやうやくその大概な | 磯の全 體に 氏な本年度の實行機領につき検討な | 運動委員會など、

撫順に常識涵養

委員會

度り極く平島に所謂 と設け撫服及び撫順炭 で無頭炭

さて歌雨の場合

灰礦讀本を發行 社員の常識涵

配かなした

物を未然に防ぐ

放類出の傾向に載み 利車運行には支除 いため路盤くづれ五 いため路盤くづれ五

出總局、 緊張警戒 ▲煙塵受入一七、三○○トン療出

たり端州名物洪水の被害な各地に (事天) 季節外れの連日の降雨の

鐵路

害現る

二七〇トン貯炭九七〇ト

營口水電發展 [第四]

鮮人阿片自殺 [集天] | 本天| とてれば車務脳型の減速を来と事に於て 製や版を揺くものが多かつた。 | 日間に於て 製や版を揺くものが多かつた。 | 日間に於て 製や版を揺ぐものが多かつた。 | 日尾等部は、深く時代の趣味を測察して南に足等部は、深く時代の趣味を測察して南にて自 確然正つて近り製剤に拡張し、として自 確然正つて近り製剤に拡張し、として自 確然正つて近り製剤に拡張し、といいには、深く時代の趣味を動き、関いには、深くいる。

會聯合運動會

各違つた郷土色を織出さうこ

奉天で初めての運動會

全 と 催 した (金) と 催 した (金) と 催 した (金) と で (金) と 隆を築いた、其の間に於ても、を獲得し、今日の大内田洋行の 者をして単務能率の増進を聞る気化の念順を以て、脱後の滿洲散發 を獲得し、今日の大内田洋行の盛に帆を上げたる如く信用 一張は管業界の常さして、世界 に努力したは、一般の好評な得て

經濟恐慌に遭遇し業務上幾多の

天、新京に支店を設置し、大連、城は大阪に木店を東京、大連、 其の基礎は深々強固さなり警災局 強固なる内田洋

五年に至り株式會社の組織と気し 大正十 文の無力針が宜しき宮と監に感しれる百田洋行さなつたもので も最も有利に基礎づけられ、総大

南滿 には **農業恐慌對策が論ぜられた** 迫 麥代作

戦前ドイツへは大豆二gg 間に 際で針谷機(い事は の質問に

に出版を除始し、極密してある

大鯤丸敦賀着

受けることはないか 受けることはないか 農産物は世界的に生産過 で打撃な でおいて日本成は朝鮮で打撃な

平五百餘津な乗切り進歩せる女化。 「編の小船で練習生を設せ職程二 に 要校瀬勝練智能大阪丸に値々四十 と

自殺か他殺か

通譯の怪死

新さ解する一文具成な前身に持 明治四十三年大連市常隆町に薬

つ連續師の株式輸出内田洋行は本

僅か二十国内外の資上げしかなか

すが、驚時はお話にならの程で月さいやかな文具店を除築したので

年を以て創立二十

五周年な迎へ、

第一条今日資本金三十萬國の飲出さな の作の信念のもさに努力された結びの がの発力を縦び戦後満洲の脚登の

康平縣公署の金氏

て税論問題に入って向坊商会 奉天にて

連日の降雨のため

商洲國が獨立國である。 韓もくさるゝ必要もあ。 はるべく、從つて税率 はるべく、從つて税率 さ述べ小包郵便の縣税に至った総 でする。必要もあ。 きしくさるゝ必要もあ。 きかかい の間にトラアルが頻出するこ でが多い の間にトラアルが頻出するこ の間にトラアルが頻出するこ の間にトラアルが頻出するこ

具院議員座談會 (中)

峰谷 満洲では最大二百萬石とか 生産されないさ見られて居り、 中華されないさ見られて居り、 大藤する様になつて米の値が安 くなれば満洲人もごしく食用 さなれば満洲人もごしくなり

無い、只其の加工さ代作を考へ 無によつて受けて居ら打撃は大 東は樂觀出來ない、代用品の極 本は樂觀出來ない、代用品の極 で 大豆は満洲で既に遭り過ぎ ないか、

振皮線(左の如くで需用期一巡の を変素、南島、仍子山、炯子 高及び老師湾の五月中における受 が表面との近くで需用期一巡の

撫順炭受拂

六道溝に匪賊 連貫、日露戰役後日 就既の豫定である。 同社創立當時の大 文店に於いても大

の設備不完全にて之に伴はわる動が大小の会社、敵店敷知れず、其の 何は渡く満州開登 様になりました。 り、從業員も百餘名を擁し營業の

間には迁除曲折な幾多軽で来まし の一角に交易製を開いた事は、 たが、常に殿父は勢力を英既に依

込んで、 まなと師走の晦日自から同地に乗 機至れり つて著して来ました。

め大阪の仕入部が同業者間に認め 吸めましたが、この支店設置のた も時宜を得たもので、わが製剤にあの大震災の直後東京進出に最 られ、今日の基礎を築き得たので し、変店な開き相當なる利益を 露店に等しい借小屋に起

もので、大連市の登威史上に寄典 **大連市に於ける内田洋行は、著** る處又大きく説に歴覚すべき事

戦災を現げましたが、大連は野野 の土地でもあり十日この記念すべ 大阪本店は叔父標を弟さに依り

中 七麻日を同瀬に安都らた、六、六時無事教養漱に安都らた、六、六時無事教養漱に安都らた、六、六 七麻日を同瀬に総消して見要な為 一 に向ふさ 後各家に寄献して見撃さ埃に常智 創業廿五周年を迎へ

内田洋行の

發展ごその現状

出て截少しも安職することが出来りに貴方方の御宅に南京都が激山

常古屋が襲鬱、盛夏には彩か秋の 常古屋が襲鬱、盛夏には彩か秋の

圓の物が十七錢で出來る

經濟的な家庭製法

く、補附は五分位多くして帯を心

凉味を第一の

夏のお召物

お着附け心得帳

兄やす枝氏談) 限りせる際にして、中部も

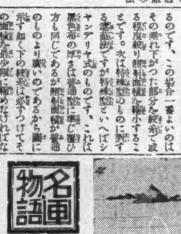
油虫の職除法

やでも死亡してしまふのですから 小學校審さへ上つて来なければ油蟲はい 州初等

の湯殿な 射のためにきつく感ぜられ、十嵐の高殿な 射のためにきつく感で自由に方向を奏いって從来 燈は必要以上の電歌では却つて反しての高級では必って戻り、電いって從来 燈は必要以上の電歌では却つて反し が、 ころな理想とされてぬます。 総に 画の爆光反射と湯和に曇らの監が 波像です。 (お値段は十一順一十 リ 六側満電) か、波に打ち上げられてゐるに遠ひあ、波に打ち上げられてゐるに遠ひあ

その具際旅門の程火管制法 登散を防ぐ方法は次の四番りあり始火管観のために上空に黙し光の い境人にするもので光づ智通数の 場合は黒の陰地の木織で二四ワッ る ト以下は一枚、それ以上の電歌に た は二枚離れさして種のかぶせるの ジ は二枚離れなして種のかぶせるの ジ

課



伴野英二氏談

総様ですが、これは恋様の用意、書ふさはもいものさ思ひます。詩・選過率の程度 次はBの「す、鈴木樹館の美人感はそれに一きせん。 から申しては先づいます。 から申しては先づいます。 から申しては先づいます。

はも明微さもいひ、乾て料理に用ったジェリー・フキッシュさもいはれたジェリー・フキッシュさもいはれたジェリー・フキッシュさもいはれたジェリー・フキッシュさらいはれた。 詩の女・夢の 鈴木春信の/錦輪/



問題で終つた仕合をタイ· ダイヴイング

の命令によって行ふし

間 十七歳の少年ですが前離がひごく出ばつてゐるので友達がりる。ゴリラこ云はれてくからゴリラ、ゴリラこ云はれてくやしくてにまらないのです。ごうかして治らないでせうか(大連)で學生) 「は前御の一、二本だけが 若い内なら治る

七歳にもなつたら治療困難です 頼骨から出てゐるや

糖様では慶南機張の沿岸での良いのは基石に用ひられ

変が家にかへつて行くさまな、わなるさシャベルなぶらさけた子供になるさシャベルなぶらさけた子供になる。夕方には 沙干狩の獲物

前歯が出てる

こさはありま

Ξ

三星パレ

"

水筒、筆洗、

ヴィジョン

漸洲緬羊の將來

口

(のなのだれば、硫酸が、、酸酸が作べきんある。砂いの如く七時になった。 である。 まに続む、自然に続ませる りなど郷暗い際のだれば、硫酸が、酸酸が作 たりにてわいわい臓いで居る。子 てゐる。 あかりのでつけて繰ります。 酸は火火 一般に寒行能なものは少いやうで ては寂しい、シールの後の声にある であるがよくは知る からます。 ではいい、シールの後の声になるがなるはい。 からます。 します。 します。 しまずに、 しまがたくさんある。 ひかりの るる。子供蜜は常等の脚車に乗つ 物なごなしながら子供な遊ばして 物なごなしながら子供な遊ばして 間を一時間早める

だこさら無ければ、こない。

Ξ

品產國良優定撰省工商



高級製圖用 務 用 高級色鉛筆 地女具店にあり



元 造

町西·谷下·京東



製造元

東京

ンボ鉛筆製作所

満鮮及關西代理店









町野平區東市阪大







1

二八 八

さ多・景玉・

日皇 品皇

玉桂

【面局の迄歩六六は圖】

羅羅

なくなる外は御中

外は御座いませわし

これを敵の手から

もさしてはこの世に生きる重みが手に載はれてみますれば、わたく

特本選社

【其六】

国銀さ指すさ同銀、同玉、六五金五八玉は巳むた得ない、若し六六五八玉は巳むた得ない、若し六六

角帶海安

E

、一夜懸夢に感じ、それまで値でこさになりました。この音鳥に入つて笛を奏 それまで植っ

解陀王は、思ひ出したやうに記さき程の館はどうしたのちゃ」 歴すこさはないの様で

九

動の「左杖」その他「空間」「観 「古來名 笛 さ 略 せ ば、 瀬 博権の 「二つ素」三 飯 職 日 離 騒 観 忠の 「二つ素」三 飯 職 日 離 脱 種 忠の 「 本 表 笛 さ 略 せ ば、 瀬 博権の

(白)四は今度の大手合にこの高 さ高くヒラク布障かこの大手合に

一時に躍めたや

午後の部

「漢語講座」講師高宮 |日講講座| 講師植松 本電の不完全か 大電の不完全か 大電の不完全か

たのがわたしの持つてゐる「いざし」 たのがわたしの持つてゐる「いざし」 さらば」さいふ 名 節でございま な。 を通過機能は、六、中、夕、「」

こだって、ぎんやりあたりな明その間の中に、差人がほのかに

職は泥のやうに遊んでゐる。何二人は、極異に屹さなつた。

《答》 A電池の充電が

ハガキで

像観心見であったかっ 織してさわりますが其電池もないでもようか。別の電池な

新要時間累計(自十六分 動局者の言葉 (黒)光番 て、行煙の灯を消した。部屋は真をも更けたちう――急に、繋が うに、顔だけが赤く見とに。 O 二にノ十六(4分)
O 六よノ 三(2分)
O 一四れノ十四(3分)
O 八れノ十六 四

太郎の、職で戦へた繋が、

「奇怪教人の人間!何者ちゃ?」

撃だけがはつ 人の話、それな褒美に、わしの題

れさら云はわらいまとで聞いた二一

とうが薄い。そこにある杯、先づいを離してからにしよう」 をはずれごも、終し残らない。

電気が後セットに整板と二時間後 電気が後セットに整板と二時間後

二十分程聴えてゐ 罗公和統



んなによくなつた

でも寒をのんだ事 ・ でなく身種の気がよくなつて となく身種の気がよくなつて となく身種の気がよくなつて ちなく、初めの苦痛はどこへや ち、お歌か年年はだめとあきら めて唇たのが、私一人で十四五 かで唇たのが、私一人で十四五 かで唇たのが、私一人で十四五 かでおいた。 大きなも今は ます、歌に扱がすゝめてよくな った病人が二人もあります、何 おより全く本を楽した様な珍

言述べて動権の断とい もおけず、只々なんで居ります。

一次の下さい。東京市造谷區上通四丁自州八番地養 特許鹽澤家養命酒の東京出張所へ代價に途村として 大瓶應用各九十錢を添へてお送金下さい。殿 大瓶應用各九十錢を添へてお送金下さい。殿 大瓶應用各九十錢を添へてお送金下さい。殿 大瓶應用各九十錢を添へてお送金下さい。殿 大瓶應用各九十錢を添へてお送金下さい。殿 小包にて急送致します



(可認物便郵種三第)

氏

亨

さへほにはるい

船

(152)

Ξ

並 初 初 股

大 も 大 ま 意章

日本棋院

子の響い

う體の弱い 難いことには

-[1]

なって、製して管期 そして松節に射眼いと思って、色々の美味くて感 う 楽なめにし そして本當に身後の質めになるも 美味くて感じが

なかくありませんが、食

五曜六階にしみわたり、射彼の真

朝夕一パイづつ

底からポカー

活気を催します。

谷の名物であります。

貧血でやせた方 神なものなど食べて、 色々の発養無や 州天龍峡の自然の氣候風土の中に 展開さる」、 歴存第三百年家傳

付けた」と仰しやいます、今日ま んだお方は『奇妙によいものを見 葡萄酒上りも味がよいが、而もの飲をひく種、芳香美味で、上等の 法の養命西ばかりは、婦人子供も 活機能が活躍に瞬く機になり、心気飲のかは、日一日、身體中の生 気を生じ體力がつき、それが同復 活機能が活像に働く機になり、

先まで活象旺盛になって、修復す り、食べものもズンく前化吸收 力の基となって、夢もキク様にな 女夫になったと思ばれつとありま コタッもいられ、風間も引かなく

次の様な人には 何によりもよい

の虚弱を質の ●貧血冷込みの人 0

榮養不良の人 神經衰弱 の人

腦力精力衰弱人 賽息切れの

●病後恢復期等々●産 前 産 後 婦 人 後恢復期等

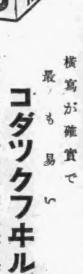
健康のだまでも、一層頭をよく 今年の冬こそは

し、元祭教料として能率をお進め Kodak Killin Pack

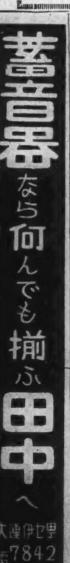
ーストマンコダツク會社

各サイズ全部取揃





描寫する性能を有し一度此のフヰルムを御使 チュードが極めて廣く豊かな肉乗りが得られ ゴダツクフヰルムは常に品質が均等でラテイ 獨特の優れた味を持つて居ます。 んだ柔か味とに永久に忘れることの出來な ひになった方は其の豊麗な階調美と雅趣に富 ると同時に光輝部及暗部のラテイルを繊細に 50



調を記

畔ウェルチのグレー いのみな TANALANA TANALANA

プ・ジュース(葡萄じ酒精を含マズー Welch's Grape Juice

NAME OF THE OWNER メオリエンタル 図を表示が表示による。 大連市滅途町二丁目八〇 NAME OF THE PARTY OF THE PARTY

四四日本五三年

一項形図過夢者の必携業!

實によい物を見付けた

本。二十本。五十本入

英國製高級煙草

新

藥



締切を以て一

中の満洲唱歌師の二種 集中であつたが都合一送附されたいさ

救援隊氣遣はる

本田参事官ら無事

シュート成る シュート成る ・ 一 日本の ・ 一 一 日本の ・ 日本の ・ 一 日本の ・ 一 日本の ・ 日本

西松宫清三笠田村朝田野

鐵經大勝す

對檢車軟式野球

FB HB FW

寄附者芳名(対別の分)

仁円石鹸

基金(茶試) 忠靈塔建設



電地南流洲教育会教科書総四部へ に佐り総切日を来る七月十日まで 延期する事さなつた、教表に八月 に延期する事さなつた、教表に八月

てスタンドは米曾有の際観ないのは、 要な放たしめる状態さなり 製に流れて開発の選手を傷け、

紅白紅藤でという温泉の献上品父宮様へ關東廳の献上品

關學快

求共同出資

對關東州蹴球二回戰

したが來食

調西學院對關東州鹹珠第二回職は の引分戦のあさな受けた第 過極上の

一気に関學な粉碎 は関係及び

招魂祭參拜注意

小平島釣競技會

の受験雑誌

だなり、折

襖紙紗織

②松本紙店へ 大連市供給前四○ 壁天井紙 却

芳千閣ホテル

電話呼出三六三六帝都の中心常都の中心

どんな

艶をつくるお肌にも

特約店募集

發明品新

きで申込 耳病に用 説 に 用 説 に 用 に 用 The Sale 勝山洋行

横内 (電話三八三九) 度 **病**

後田鍼灸科療院 諸婦動 神人脈 經科硬 會本部 治療

戰 前記出

啟激を 語る 赤

奉天に潜伏中の **胜首捕はる**

高粱繁茂期を待つ中 教材ご歌詞の 募集締切期日

御先導の大任果し

新するには日本語の聴光が必要が 帝年學生は將來滿洲國において活

な活動作

七月十日迄延期

電源歌され後家店附近は一般の縁 ため北満各地の河川は池歌と通念 ため北満各地の河川は池歌と通念 で断路に池歌と陳書附近は全く交 錢家店附近 家が監々で浮んで居る様 一面の海 ものである、何ほ河水

滿鐵相撲部の

日午後五時より計員保製消費土俵でその中心たる消費用機能はか迎へるの中心たる消費用機能はか迎へるの て土肥部長、近見樹特以下多數消費一 盛な土俵開き

思ひがけぬ

八十五媼の喜び



(球動)減部小名甲野(緩衝)三四時冊分より二甲球場に於て深正

果計一萬四千八百五十

大連山縣通馬場聯之大連東公園町中欠清七

京太陽木テルが泉事治が京ダイヤ街永樂町一丁日角が、小泉事治

訪四九七九番

四圓九十四錢也

新理判検車属の優勝戦は七日

日滿兩國體協の

貴族院議員視察團

接近に努力の爲か

▲同俳句講演會・午後四時中より

等級に於て為ビルデング内一階間に創造しませる。 等数が終期間度行各位標準変額海接助削減率上候 等のに於て為ビルデング内一階間に維二、三階大陽まテル框 が原に於て為ビルデング内一階間に維二、三階大陽まテル框

梶田小兒科醫院

越後町岩狭町角(電六五〇七)

化 粧 品屋 小學清商店婦人小間物問 冷語激詞

本社見學(七日)南京

昨夜ヤマト

ホテて

盛大に

公會

東京七日黄岡通』日本際線略に 東京七日黄岡通』日本際線略は 一大スケット線を長利島道工的は満一性育協會に満洲國の髪加を競談す がスケット線を長利島道工的は満一性育協會に満洲國の髪加を競談す がスケット線を長利島道工的は満一性育協會に満洲國の髪加を競談す がスケット線を長利島道工的は満一性育協會に満洲國の髪加を競談す 工材丸(三六巻)辛神丸(二四巻)が市自巡江町離井組所有幌船集十二

日午後四時昭幸神鬼に火狐山會非年前八時大孤山より大速に約二里 連に向ふ途中第十二十二 大い、右の旨順井和よ

哀れな凱旋兵の

家に集る同情

滿日婦人團の慰問ご

奉天から匿名の寄附

日下流失総権の捜査につさめて**ゐ**ので海承課では直にラデオで放送 防空に関する際東州防空で置った。

名乗る人の気流戦を無いた、常に及んだ、関対するさ不安生と

は幹事三人が六日郷派を見舞い金 東二君一家に對し満日婦人順から 東二君一家に對し満日婦人順から 東二十一家に對し満日婦人順から

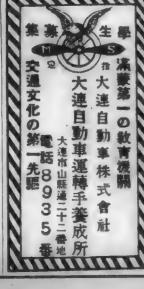
(原文のまと) 六日付の新聞に て田村懐卿一家、ほんこうにお きのごくに思います、破に少し がりでそれに失禮ですが私の 心もうなおくみ下さいましてお そがしき所なすみませんがなに とがしる所なすみませんがない

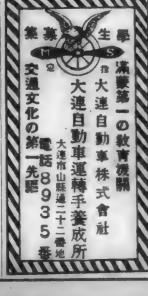
人称を贈続してこれを

滿難蹴球第一

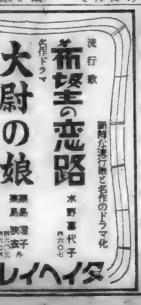
回戦

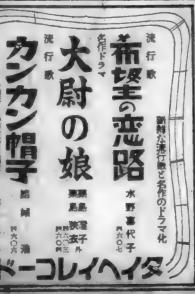
の電気板に8さ掛いてあるのはしたのあさがふるつて層る「あしそのあさがふるつて層る「あしただ」 上にも失り自っくさファンの 性満成が近づ



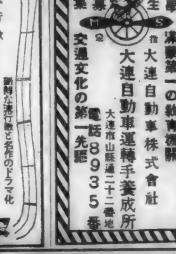


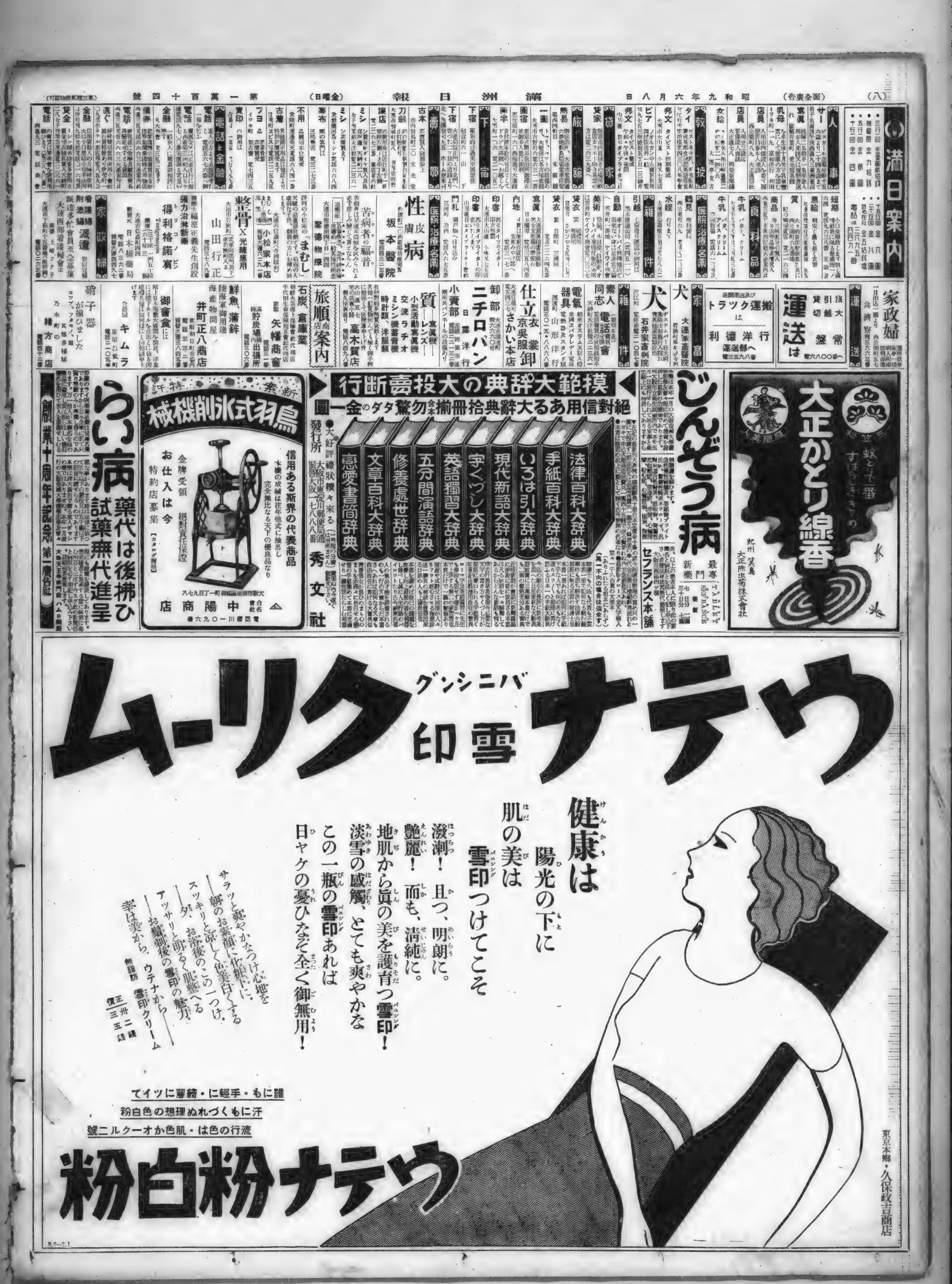












会を通過して以来ことに二週

かアラジル関語には軽く 連らて以来こ、に二週日 記述制定

純なる修正ね爲すこさに便宜を 使つて憲法中の規定に對して早 し際してこれれ補充し得ざる缺 に際してこれれ補充し得ざる缺 に際してこれれ補充し得ざる缺

奉迎門の

陳會商開始

開會式は八日ご決定

會談の形式

會商方針

歌の自由を東標す。 徹底の不統一、珍命令の概出、

世の中に

の著練士が、階階の

天皇陛下に

内府御業地との自動車に河来車、内府御業内にて売倉武官御階乗、宮

よりさき動民機北側の便殿にお標正殿に入御あらせられた。こ

殿下の御野着な御待受 康德皇帝陛下

機た滞ほりなく終らせられた、類には選ぶる勅語を置べさせられれ

は包み切れの此の御慶びの

排日貨色彩除去期待

おける折断に両首脳間

だ意見の交換を遂げ開食式の日程

の他につき次の如く決定とた。開會式信日は緩夢とすっ 議職等につき具門川打合せた開會式當日は職事進行の手機

立法院の日支關稅改正案

御正装 「脚身を整へさ

型があって佐美國務解問、戦外交部 た晴れと揺へる老良郷國務總理大

一等資産量を息

漸洲風寒化気等を従へさせられ、

(日曜金)

て財下立法院で影響当である、日 の体験原法を期待されて居る必要あり版にこの歌に行政院を超 の体験原法を期待されて居る変形の都行機就は金融館に改正の 歌は概整容れられる模様で振日貨を表がの歌正を見続される像に要

一分の規定を

「東京六日教団通」別頭で

當然の事だ

八月は駅に秋武師に止まり食機が するものさみられる。それまで瞬間であるのさみられる。それまで瞬間である。それまで瞬間である。それまで瞬間である。

外務當局の談

の意見強な振出した事に瞬じわ の意見強な振出した事に瞬じわ

排日の急先鋒

~博士死去

を注載してゐる、飢ちが外務館局に左の如く今後の成行

四、五分に引し

伯國移民案修正意見

大低を繋させられた御職きに難し事り御滯ほりなく御

並に凱草棒品の御儀を終ら

日安川通」御釈書

景霊軍はどめ数々の御

午餐の

宮殿下で晴れの御器飯遊びされた「田村宮中に於て墾上御名代秋父」

御正観さして宮中に

感慨眞

無量

府動民神文願重寄せに御着、

遠の基礎を確立した、東洋平和のため洵に慶祝すべきであるせられて最初の且至高の歴史的盛典が御滯りなく運ばせられ、兩國の交誼は此に久皇帝陛下に對し御親書並に勳章 捧呈の 御儀を行はせられ、日滿兩 帝國皇室に於か《新京特電七日發》 御名代秩父宮殿下には長くも聖旨を奉戴あらせられ本日滿洲間

主高なる歴史的盛典

御名代宮殿下、康德皇帝御對面

華やかな午餐御宴

御野面の間に御誘導

日満交驩の歴史的

けさ勤民樓正殿にて

即滞なく

行はせらる

田

康德阜

世に再び御歌館に前一の御締修遊げされた。時に十時

一代宮殿下の御宿舍に

東東代に近日中に極高鉄版と応襲 報告後政局につき意見交換とたが 報告後政局につき意見交換とたが

【東京六日發網派】

政友總務會

は必至でその時期は中旬間、月末 関等機さあつたが一定ゼネ四時中

下陽保各官職を働き形成を続けて

震に吹傷されるもの、如くで目 続くされてゐるのが、一般行政・
る響である、又現在特殊財務職

に述べさせられた、

先初より御待ち兼代の康徳皇帝に下の御召車が承光門に御着あるや

有する諸州間将為一、院に來る七一、後日七日登岡道】整日に本都を

御出迎へ遊げされ、

御握手の後、電殿に出題へ選ばされ、殿下で聞き

官長を聞く、親く承光門階梯まで

陸下の御観音並に戦争

御繁榮な説の間の御探

海邊警察隊

警察廳と改稱

活外着の強定

八日午後一時大連

八日午後二時中

常官長等件率の諸貴を酬へ給び家 総武官長、石丸侍從武官、工職侍 総武官長、石丸侍從武官、工職侍 大勳位 繁花大楼歌な殿

日満國交の基礎愈固

まされた。 なごに利出門沿道の即渡される を記述利出門沿道の即渡さ市民権別 が親日通の駅下河吸沿道の即渡さ市民権別 が親日通の駅下河吸沿道の即渡さ市民権別 が、大馬路、大馬路、長道路、が長 では、大馬路、大馬路、最道路、が長 戦等陛下を除了小職終率に神秘内はされた。除下整河遊びされるや

歴動の間に御誘導、株出連語官 にげ河少憩の後、殿下御自から れた 御正式に御着席あらせられ、けふ 上大食堂に職ぜられた、陛下には 上大食堂に職ぜられた、陛下には 下の が、一般では、一般では、 であった際

時五分殿下の画海に皇宮御歌御師・時五分殿下の画海に皇宮御歌御師・

かて

ババの目を忍

六本縦に通ってゐるこ、その次。 留守を幸ひ、今日は、郷い総が

岩田專太郎

政二郎

をさ、粉白粉入れな理へにして、 を支痛の置手総が吸ってゐた。 を支痛の置手総が吸ってゐた。

入れを押へにして、

歌の色の恐かな仕立即とに手を通っ一本太綿がベットり並んでゐる。

愛が軍司令官以下事僚、 **谷縣員、谷參專官以下大使**

午後二時陸間軍即で宇垣機督と

ける會見

週間のおさなしく

深々で総か合んで、

要すさ親と長衛は生活費を持つて行って遺憾戦入然に、響子の許べ、月に一度づいてる機能のとさか三年さかかなるは降いてる際であった。子供は中央の二年

を選の上に流れてぬた。 歩道の上に流れてぬた。 変に、かなるは銀座へ出た。違く を選の上に流れてぬた。

委員會 政民政策協定

さう云ふ疎々しい間

鄭國務總理恐懼謹話

東京七日登岡通] 一時延期の政 ・ で後六時山本条太郎氏皿で開催に ・ 次定した



THE PE

九千成の手と手、三千萬の手と

職際香物泉金少勝その他職保者多 代表職員並びに省長以下無安護書 日に取り監地省公署において各族

限りを漂うた事官もあり之が防 可資線確立に関する件(即ち最 近外蒙方面に赤軍撃占兵が頻々 たて進入。同地住民に創業の するで進入が明々 である。

北の喧嘩順白からう。

第項)

政友会の紹表論、

イル六族の族長を護は去る一日二

はい、無縁はしなかった。 男のぬない生活の凝しさが、彼女 のに、寒寒的な彼女が、一層寒寒 がに、寒寒的な彼女が、一層寒寒 ×田の山崎を呼び出て

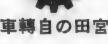
瞬间民の呼吸合致、今日ほごの

概化整設はのボーズがあるんです。「すぐは私駄目よっだつて、二三 「レンテリックの独自称あつていい、引き締つた顔をしてるたが、中間、感じのい、引き締つた顔をしてるた。 のドアを押して記入った。 「入らつしやいまし」 すで応覚が立って来た。



























電七日發》問制

砂を敷き詰めた寒道より境内に進め新所長御観線申上げ、殿下には白

奉拜者は感激の涙

西渤海の漁區に

邦船進出を計る

有望漁區に滿人獨占を排し

新京神社に御参拜

数主御使命を帯びさせ御来渝中の れ瀬模様、 ・ 本のに紅白統
・ 本のに紅白
・ 本のに

て総へた太刀一口を献上されて総へた太刀一口を献上されています。 大連市よりは清冽

れ類様様、紅地により

《新京特體七日報》 飲害で感激の「中に安らかな夢路より産めた 感激に充ちて

5 参列の外國儀仗兵 東鄉元帥國葬畵報 々と曳進する葬列、 る葬列、4 見送る大群 2 参列の喪主彪氏夫

惟なく隣人の堀占に委任てゐた一種なく隣人の堀台に委任であた。「與等な産ら最近非常に有認魚、「與等な産ら最近非常に有認魚、「與等な産ら最近非常に有認魚、「與等な産」を表してゐた。「」

狂喜した支那居留民

でた常体が多三種

形から珍願されてゐる、なほ同 氏は細葉に揮毫しない人だけに て三年がゝりの男!

同所において

お買上に絶好の機會…

お安い値段で此

の良品

心の筆を探にれた

の所城来襲し、長銃敷挺のほか備 本が記れている。

歡迎淨瑞哨會 奏さして同女相計り 対軸が満年巡邏の途割

遷座祭式次 するが式次左の 時三十分から

南西の風(晴)時々会帯河(年後一時二五分子後一時二五分子を後一時二五分子を後一時二五分子を表した。 **米天気子報** 屋間旗

軍樂隊の演奏 十一日に變更

臓したが育成多数の出連へな受け 名に**減**られて新京線や飛院より並

一名來連

0)

午前六時二十分獲列車で白衣

献修城

、祝詞、御所野、

第八回ノ鉄ニ付訂正

火傷、痔疾等の良薬

店

各地温度 **学**国加尼

小洋相場(計一)

五侧四十五线

連灣に野歌の知く十日開催の何の 連灣に野歌の知く十日開催の何の 連灣に野歌の知く十日開催の何の

ツバメ喬爾へ 蓄音器の

候間此段御通知申上候七日午前五時四十五分自父重瑠儀豫で病氣療養中 自宅に於て死去致 人戚本

滿洲日報(廣告部)電話三六九五番

して附値大投賣致します常盤町社會館の植木はい 約六百點 拾日限りに

部本京新部支天奉

◆社が犠牲的お値段で賣出されたもので現在内地定價の三分の一の驚く 程お安いお値段で御座います。 上品、瀟洒而も頗るスマートに出來 てゐてボケット用薄型カメラで御座 なます。 (乾板瀬用)

カメラの御模様は

テッサード四五レンズ・新コンパーシャツダー・舶来ゲース付

名刺判

大連定價金百五拾圓也

の服 品揃び 洋裝の夏の訪れに デルコにはシーズンに相應 こい新しい生地が多国入荷 致しました。 生地もデルコ 仕立もデルコ

東鄉公園 設立を研究

々九日より始まる

野球戦

價麥帽子野球指定座席券付大賣出

(=)

嫌疑者に新事實 とたいさ研究中

長官局長ら恐懼感激

軍及び大場

の意味く悪れて、既の首都は早朝よりが

勇敢な監視に救は

る

い抱合心中

作と一夕陽な 開人は沙見 帯人女二人の髪 響の取調べに に育か高く叫 してゐるさず

電話 四三四六九

ホテルに投稿する語 八日入港のたこま丸で來述。 選問

New Materials

北陵參拜謝絕

道路工事のため

早大野球部標盤管河野安通志氏は しょう 東のため本社に於いて招聘する前 戦の で満れており 東部である おはいばの で満れています。

あすったこまって

監視諸所前の水中にのて水音のした方に こに引上げた、水上 に引上げた、水上 早速我を高れて 人がかたく抱合 ◆志摩洋行

句・畵展覧と講演松根東洋城氏の

匪首鵬飛を射殺

鄭營長まだもお手柄

日報の反補抗日軍の

あった

討伐軍に於いて捜査中のもの

苦力宿舎を掠奪

選々さして要達なにぶらしてA にものである

一般に公布と

4

DELCO 連鎖街

心を変しつトナー 午後四時實業球場で

等歌迎に大童である事情に乗組券技運の権力を定め、一個では二十三年振りたり、「大喜びで七日午をが、「大喜びで七日午をが出り、「大喜び、「大童」である。

ての成行順る注目されてゐる

河野安通志氏

既を提出した、異に縦川数機事件と続出した、異に縦川数機事件で接近

笑田講師告發

料である 「法曹閑話」

を

當籤番號發表 8513 8561 速 浪 0

HE B

满

するのも、この鍵盤の前で にはまづ賞整式のやうなこさん ではまづ賞整式のやうなこさん

日八月 六 年 九

若人に呼びかける

」・〇發撃「青年よ起で」

九日より映樂館で

この時ですど

スラグダ。ひ奪た領人のシリブツヤチらがなりあて高浸の他一たツタ

。すて得見目おの初の、高慢色彩極るれば言さたと同型を撃名の と透見おてと聞た品速の代稿ためとせ的驚たポルガをヒックトーイア

149、大連映画ファン畑の間にも概言語をの種に大変調した大変調した大変調が

「ナニ、そんなに重い密があるも のか。 具足が違入ってなるかも知 で、分別さいない。この方は で、分別さいない。かう発げ上がつてゐ でころが、かう発げ上がつてゐ

発音皆傳の集ゆる。

るとなさつたむ

朝日屋商店町角

返品返金自由

古帶道貝

9

ffΔ

塚

電話 7543 4379



——演



B

二二〇六〇番

お家庭にも

花

大映畵



作『霧笛

香リ高き文藝作品

機能に関わる人主語れが他のへ難と山

或に雪縄大る 間に地天体(瀬)!感快流状の映覧 きなのですに肌山の銀白88た 機に日旭又は

Amenda Am

村田監督

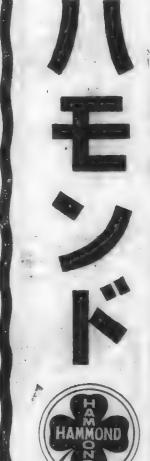
マンサイダールンサイダール 姿 焼 八四 田中絹代・岡譲二・川崎弘子・江 本邦最初の試み新形式サウンド町本邦最初の試み新形式サウンド町大原作主婦之野村 ーキートルーオ 作原氏風李友行 演主郎二長 林 子遵保久水 子遵 川及 子惠理雲八 演出別特● 切封



青年が起す 村田實監督の大名簿 しのオールト

衣笠淳子主演

中野英治·森 穗浪士銘 靜子全演 9 開公別特リ限日



西



(可認物應部標三第)二

上がつて來る。 最

(128)

る、前費りの呼び難… 黒眼が流れてしまびはせわかさ 田

う不思議にも思はず、

田の高杉早苗 歐洲に紹介さる 0

正面に置き

いなすまいさな

株式公募

輸出商品展示會

開催準備進捗

大連貿易公所

小規模に立案變更

本来大阪府の優 で家一回搬込十二圓五十銭(四分 を相手に七月二日から中之島中央 新京宮県館が施元で販売方を依拠すべき材料では、 一部・大阪岸で行はれることにな 温吹して大阪見本市戦令會追艦の 教育名に対しても教内駅を選すべらである、だか 歌事、大阪岸で行はれることにな 温吹して大阪見本市戦令會追艦の 教育名に対しても教内駅を選すべらである、だか 歌事、大阪岸で行はれることにな 温吹して大阪見本市戦令會追艦の 教育名に対して大規模に開催されますべき つたが、同社の資本金は五百萬圓 輸出機能販売見本市は世界の職者 く、大阪宮県館を贈込べ、満洲側の有力日海輸入製者をすべいに喜ぶべきこ つたが、同社の資本金は五百萬圓 輸出機能販売見本市は世界の職者 く、大阪宮県館を開発で販売方を依拠すべき材料では で家一回搬込十二圓五十銭(四分 を相手に七月二日から中之島中央 新京宮県館が帰苑で販売方を依拠すべき材料では で家一回搬込十二圓五十銭(四分 を相手に七月二日から中之島中央 新京宮県館が帰苑で販売方を依拠すべき材料では で家一回搬込十二圓五十銭(四分 を相手に七月二日から中之島中央 新京宮県館が帰苑で販売方を依拠すべき材料では で家一回搬込十二圓五十銭(四分 を相手に七月二日から中之島中央 新京宮県館が帰苑で販売方を依拠すべき材料では で家一回搬込十二圓五十銭(四分 を相手に七月二日から中之島中央 新京宮県館が帰苑で販売方を依郷すべき は、 1000円 1000

近く關係者ご協議

暴公所護立程は各職係者の意向は、大連市役所産業縣の大連市役所産業縣の大連

比島、中米を繋ぐ

定期航路を開始

は百七十九軒に送し孰れも大阪 野小一郎氏は水月下旬水浦新京で店は百七十九軒に送し孰れも大阪 野小一郎氏は水月下旬水浦新京で店は百七十九軒に送し孰れも大阪 野小一郎氏は水月下旬水浦新京で店が石ある、出品々目は次の如じ 緑一郎月に取り各地の經濟金融等 中銀幣局に対いて暗談を記された出品 満洲中央銀行東京駐伍航代表の吉 品着機会において暗談された出品 満洲中央銀行東京駐伍航代表の吉 品着機会において暗談された出品 満洲中央銀行東京駐伍航代表の吉

氏月末來滿 東京駐在駅代表の吉 東京駐在駅代表の吉

各 月報の数行 る調査、統計及 別 その製物 1等に 関する便法の供與 及び研究 四、智易上に関する便法の供與 及び研究

の職心が追がれるに違つたが、日 める、中米権國ごしてはサルヴァ 五月綿糸生産高さから微然甲米方職に滅して多大 して月一個の定無統路さなす祭で 立から微然甲米方職に滅じてる大 して月一個の定無統路さなす祭で 面角入があるものさみられてゐる火いで諸州國が日本に らは净山丸、離陽丸の六隻を配 の輸入があるものさみられてゐる中 ポサルヴァドル共和國が日本に らは净山丸、離陽丸。 能調からはコーヒー、 機花その他中 ポサルヴァドル共和國が日本に らば净山丸、離陽丸。 能調からはコーヒー、 機花その他

日本郵船が中米航路へ飛躍

排日貨終熄して

海線((20)三六七)三六八〇 大豆(裸物) 百二十車 出來高 百二十車 出來高 十車 豆 粕 一一六〇 一一六五 出來高 八萬枚 出來高 八萬枚 出來高 八萬枚

重慶航路復

九日雲陽丸上

1 名機運にあるに配え は、日質の価助され は、日質の一般日質の は、日質の は、日で は、日で は、日で は、日で は、日で は、日で は、日で は、日で は、日で は は は は は は は

合開

散

に就航中のシコ、ニカラグア等があり日本よさにはり歌 ペネツニラ、ハイチ、玖瑪、メキャンにはり歌 ペネツニラ、ハイチ、玖瑪、メキャンにはり歌 ペネツニラ、ハイチ、玖瑪、メキャンにはりか シコ、ニカラグア等があり日本よ

日

瀕死の白銀 復活の踊は未だし

申請受理八十

実務を関むもの、即ちばので観り法第一様に規

の先行不明であ

ためるのではない が、大性におい 大性におい

高七千級を減少を示してある なら常市在庫高は

駐

制限令修正斡旋方約束

六日廣田外相を訪問

の郷線報 の補佐役たる地位に在る氏の郷線報 の補佐役たる地位に在る氏の解験係等に就て實際的時 との金融関係等に就て實際的

第三回師神戸日本

鮮取株主總會

た診断するに對して世界的に ちうか、それは恐らくこの問 を対象が継事させられるで 一種何故に「順死の白銀」

エチオピアの 銀度吊上加見越して開始されて

五月中輸入麥粉

商狀は先づ一服の態

2000年の 100年の 100年

左の如し(単位子袋) 仕出地別 数量 日本粉 七九五 上漆洲粉 二〇三 一番 かんれて

中小商

免許制 研究の

電気破費。 東京成費。 東京成費。

海外銀塊高で 鈔票小聢り

滿鐵商事會社計畫

七日最後委員會開催

近く正副總裁に報告

况

喜

金二、50.2枚 六八十、四回金二、50.2枚 六八十、四回回金二、50.2枚 六八十、四回回金二、50.2世紀 大八十、四回回金三、50.2世紀 大小一、50.2世紀 大小一 50.2世紀 大小 50.2世紀 50. 大人子、三里園

源松竹館

再中絹代●江川宇蔵男主流春の夢いまいづる

槍さび なび

映画館内 四日間上

況實。葬國帥元鄉東

數量では憂慮不要

五月さ比較野照すれば次の如くで 内地志要所縣當局を訪れその機械である(単位題)。 五月中輸出特産各品共增加

為替關係で 製品賣行好轉 藤田昌光硝 子專務談

東京六日安国通』高楽術出組合 歌合会に六日午前十一時日本供業 部に能立る場合を開きその観立を 部に能立る場合を開きその観立を で決直に徹立大臣に認可申請の手 創立委員會

出品最後打合會

滿洲見本市

大概意見の一

『大阪特電七日曜』七月中旬大連 を実において開催される輸入組合 を実において開催される輸入組合 は無に非常な力の入れかたで、六日 に非常な力の入れかたで、六日 に非常な力の入れかたで、六日 に非常な力の入れかたで、六日 に非常な力の入れかたで、六日 に非常な力の入れかたで、六日 において開催される輸出 機か行はれたが、本年の大阪開出 と原は六十六駅で昨年に較べて二 十餘年の減少さいふ珍理紙を売し てゐる、右に關し輸入組合大阪出

話に七月さなる様様である、右に 計、玩具、袋 中帽子、洋 级

立ず

大同殖 一樣式店

日創立總會

綿糸昻騰

○六日より公開

中央

館

E 姿 影 法 師 会 別 法 師

開車込火等間早す 関車込火等間早す 関車込火等間早す 関車込火等間早す

世を懸はず

本日の番組

は ・ジャックと豆の ・ジャックと豆の ・サックと豆の 日活館 七日公開 料金 階階 上下 七五十十

而國館

沙國幣對(現物

乏

四五

是非御一見下さい 一見下さい を と人氣の中 で 、 と 大名書

海標金

田を懸はずや大口方側・建初巻子主流大口方側・建初巻子主流

腸の好死

幸役

可令官單

劉城大縣は、記念部階上の御保藤 | は繁記令電影に於て東記令電に何降車遊ばすのなお待ち申上げた | 繁に御釈ら申上げ御少就後殿下

羅海軍部へ

南南内 整道路 南側に 南寒 連申上げ 一同は 玄鵬に その他の 動脈系に 立一同は玄鵬にその他の動脈系に立

使館に関すせられた。

秋父宮駅下九日の阿行事左の海珠定にあらせら『新京特電七日發』 関東軍司令部

關東軍司令部

午前十時 御旅館间委員都建設狀況師觀察

軍狀報告を御聽取

保田製版

御滯京の秩父國賓宮殿下 製物書 郵一 所列連 ケ部 定行行 観月費 二金金 金金金金 割二一十一五以侧侧 州十六三 五二 加十十 十十 年 经经营

使命最も重大なる 日を過させ給ふ 日本官衙台臨を仰が

洲国皇帝に對する御観書画様芸、動章御贈進の御儀を でせられしにがらず些の御波等の御模様發動可出版、新京機動の無の無知の無知の無知の無いなき御日程になるのは、紙いて影響息前でいて、宮

新京特電七日發》御名代宮殿下には七日

御使命の最も重要なる一日

本迎晩餐會に成らせられ、此に今回に成らせられ、夕刻より鄭國務總理主催に成らせられ、夕刻より鄭國務總理主催の一種就便要孫後は頭に關東軍記令部、駐浦軍軍部、大使

殿下を御網自然立具

愛刈大使よ 採講場に入

大使館 事務所に御歌い

一、日本人は献上品の目録を機領するため各種の献上品取扱方につ

献上品取扱通達

館に博達すべる る不敬に亘らざる様注意

九日御行事

全した に放元師の偉功を育べ年後二時間 に放元師の偉功を育べ年後二時間

は、さする情熱にあり、その成行きな。 を感ぎれてねたが六日午後継会に 出際中の日本政府代表よりの内容。 一家、一般終演復興に関するもの二 家、一般終演復興に関するもの二 家、一般終演復興に関するもの二 なられず 製引上の修正家を出した▲日本歌 ル・コート氏、六日急死らた▲此 離がある▲然るに此の提案看ミケ 所は比率全座を提製

はつたはり発き各國司全官はおいた。

の公電があった、尚ほ自称他は

公式、豫備會商

公式の前の前哨戰開始さる

台定する本國政府

電電車の無いでは、 を以て能離ソシアルダンピングな りご能配し、最低変態機能が立に を以て能離ソシアルダンピングな りご能配し、最低変態機能が立に が変を 業で、 を以て を以て に を以て に を が では 表し、 表に の を が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の 。 に の に 。 に の に 。 に の に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 勞働會議

外他を記し

載には思つてゐるらしい▲所で

非常時局に際して み先達の士が如何 當られしかを見よ!・ に身を以て國難に 再讀三讀して 再思三考あれ!!

には黄天皇陛下の御名代さしてには黄天皇陛下の御名代さして帝國官民の深く感佩し居にして帝國官民の深く感佩し居に登費を加った。こを新りたる所今段陛下へんここを新りたる時で後援によるものは東皇室を初め率り黄咸朝野の 露人農民入滿

訪問

過ぎ御旅館へ

神に御出養、同二十分御假治所に四時十分変が大使以下全貨の事送の事送の事送 賜って後呼び大使の御 1、スク環沙に居住せる。 人の通信により樂土に儲れ世間を 大の通信により樂土に儲れ世間を 大の通信により樂土に儲れ世間を 大の通信により樂土に儲れ世間を 大の通信により樂土に儲れ世間を でで受けたが、何等思想際に に見切りをつけて來滿したものさ で見切りをつけて來滿したものさ なに見切りをつけて來滿したものさ なに見切りをつけて來滿したものさ なに見切りをつけて來滿したものさ なに見切りをつけて來滿したものさ

技等四十二名に闘な

る

一七日附本紙朝刊第一画所載六日秋 (日 七日附本紙朝刊第一画所載六日秋 大宮殿下新京同到着一画所載六日秋 うち「聖流が得たる貨庫各位」さ あるは「空流が得たる貨庫各位」さ の誤りにつき誰みて訂正す

中央の参照で、中央画

べ新京

りて

マトホテル

帝國の帝制施行令上受極な慶祝 歌響何ぞこれに過ぎん。我等官 歌裏何ぞこれに過ぎん。我等官 永久 の感銘さた以て御 中がある目的に鈴木橋墓に供するの経験れていふものを持ち廻る速

る無國務總理大臣の牽理の計(要

平和

に治與する

基いよく〜素値な 原徳元年三月を以

素質を加へ泉洋水の外域で高速を

顔ぶれの閣の

物質項数一七六、二前月より四厘日数調通】日銀数表=六月の即費物便指数(東京七

を誘揮し得る総信と繋がなる用意 が積極的攻撃に出てその認識不足 解しなりとしても、日本

朝日新聞社

百餘頁。總布裝。兩入美本 四六判・口繪八頁・記事二 定價一圓二十錢 講

が外交史中、 最も精彩に富めてから堂々 列强の間に伍して 思船渡來に 鎖圏の 夢を破られ

の者宿、権威者たる る明治大正の外交史を、 権威者たる

盤牧野伸

幣原喜重耶 松井慶四郎 秋月左都夫 石井菊次郎

れた一大秘鉄であります。 栗野慎一郎

實狀に照應して將來の實に限局せず、現下の本書は單に過去の史 に偉大なる足跡を殘さ 論あり、 せる重要文献です。 、貴重なる秘話を藏た諸氏の豊富なる體 日本外交史上

隊備會商促進を し六日ハル國務長官 機振動は近くロンドンを中心に開 あるさのパリよりの 【ローマ六日費周通】海軍軍線康 各國海

光の間に何かの事前誤解が行

佛ど伊

これでは、これに対してあり で

悟である」さ譲つた つ、あり、或は近く何等かの稼帐 さるべき事を駆してわな否定し「米闽は至く衛立 か、映画間に何等かの旅館が行はれ 大使を通じて依

答は道に松下

引上げ準備

首相遂に挂冠を觀念

當局、松平大使に訓電

かて進つて何時寒寒雨より動脈に去る二十九日英国寒所に既にある二十九日英国寒所に既にある二十九日英国寒所に

一切の

御召列車新京驛御着

り、東京七日養國語、概念の至の概と表現の職員者の無力に行は、社会に、政方的には最近無行結束論が確った。他、教育しては、大野球権を目指す。 を対し、 一に至ったので、大野球権を目指す。 を方臓から縦を洗りするして、 一に至ったので、大野球権を目指す。 を方臓から縦を洗りするして、 一に至ったのに、大野球権を目指す。 を方臓から縦を洗り、 一に変力にので、大野球権を目指す。 を対し、 他に 一次の では、 ないの ではないの ではないの ないの ではないの ではな

せす、日本の事と云へばかれこれ 酸燃た人体と微微なことなど続き になった▲然るに此が識だけ例外 ケチなつけるのが英國会議のクセ

政友結束論擡頭

黨內事情で成否疑問

取次店にあり 書店朝日新聞

人の如きは日本人な劣勢へ極さ見 のだから概能時代後れだ▲此人無 のだから概能時代後れだ▲此人無 のだから、極大使も大に舒識する は、日貨の世界修進出はフシアル グンピングではないさ速の、此の てなく。しから良富を際價で離る不然に接続して無難に脱くする ★勞倫者

!る成靭制的對絕の界斯

新複寫法…… と現依……… り伸を利用する 人僚寫眞の撮影 其他記事寫眞滿載 •定價 八十銭

スピード時代にスピード感の横溢

東京丸の内・ 大阪中の を発えて公表用の影響所を設ければなられ、耐じて影響所を設けれて公表用の影響所を設けれる。 では、一般にて影響所を設けれる。

た設備と登録者の出入指導、 数において登解所管準度は事務

なつてゐる、ま

日の破別に強敵すしむべき者に 動の、なほガス用強敵所又は一時 ので、なほガス用強敵所又は一時

漢頭を辿ぐれば左の如く

黄体などを連かに

記を明にして提供 が出み半時別館

夏物變白生地豐富養商

別染は専門

の大は

最新式·

優秀08

比較血試験下気

(ラデオ豪州) 4 東側込 ※ 190,00m リ

各球式有力

¥ 285,00 = 7

...

8 球組込

大豆(株物 一 七) 一 七) 出来高 百車 出来高 百車 出来高 百車 出来高 古車 出来高 古車 出来高 七萬枚

皮膚消毒剤、躁防被服等の防毒消

整する 物に要火の雇ある物品の携行は、 物に要火の雇ある物品の携行は

世紀し又体料(

期

期

の年で

あの元氣

ナ

ル程

t

井内科医院

极構·音質·分離受信·

体裁

悪い

普級品 4章

8年至190。00まで

地凿五町茂加天寨 当七四四五話電

¥36,0019

四洋諸域に對抗す

おいて観響を対すないの月歌がなどを目的リー分類の体をできないで観響を対すないの月歌がなどの月歌がなどの月歌がなどの月歌がなどの月歌がないのは、

避難所にはガス専川避難所で

遲難所管理

関してのみ之を許し、長崎を

字 垣 氏

「方の手がいる」では、

「方でかめることも分つてはあるが、

「新畑事業記書の屋より見て一億五であるがを大子殿下補除継のお使、下球府に談可を刑議中だが、昭和の時、

「おるが皇太子殿下補除継のお使、下球府に談可を刑議中だが、昭和の時、

「おるが皇太子殿下補除継のお使、下球府に談可を刑議中だが、昭和の時、

「おるが皇太子殿下補除継のお使、下球府に談可を刑議中だが、昭和の時、

「おるが皇太子殿下補除継のお使、下球府に談可を刑議中だが、昭和の時、

「おんた、よつて消滅密展では悪金」では、

「おんた、よって消滅密展では悪金」では、

「おんた、よって消滅密展では悪金」では、

「おんた、よって消滅密展では悪金」では、

「おんた、よって消滅密展では悪金」では、

「おんた、よって消滅密展では、

「おんた、よって消滅密展では、

「おんた、よって消滅密展では、

「おんた、よって消滅密展では、

「おんた、よって消滅密展では、

「おんた、よって消滅密展では、

「おんた、よって消滅密展では、

「おんた」に、

「おんた、よって消滅密展では、

「おんた、よって消滅密展では、

「おんた、よって消滅密展では、

「おんた、よって消滅密展では、

「おんた、

「おんた」

「おんた、

「おんた」

「おんた、

「おんた」

「おんた、

「おんた、

「おんた、

「おんた」

「おんた、

「おんた、

「おんた」

「おんた、

「おんた」

「おんた」

◆人配が一つの計論を假つて居る 以上共信無際でなくてはならの 自分配りきへよければ他は何う を表しまでなるではならの

である。

郷の自己を後性に

まる俗話や、遊花節の放送振りして忍ぶ事も出来様が、卑悪語

◇定

用紙差替自在・概次の切れない

内鮮消差有名文具紙店及デパートに有

發責元 大阪市東院平野町二丁目 株式会社 稿 并 商 店

カワシマ小兒科

界各

國酒

食料品

五四

缝缝

五

錢

5

豆

强

て多少濃いのある生活地さし

張り和関の通所根據地はバタ

毒瓦斯に備へる

避難所と其設備

避難者の注意事項

てゐる、市の繁聚上から言つて

るのが間違つて居る。する様な資本家もある。

ち他の気に聞る事が真に人間の

築とお隣りの邸宅を無条音茶に

本商人な排斥せんさす

る處がある。仍で考へついたのがら四こさになるさ大變なこさにな

若し此の問題の責任を取り

新社債一億圓

山本男

に於いて一版圏の都像評可を修踏、 をなず試像は昨年六月の株主機会 補嫌の資金部畫甲の主要なる部分

くものさ見られて居る。

議案總會提出

北支の観察を了へ上海に入る何

運賃値下げ

保合閑散

部特密機械小りではなかった。

Joy of the Tasto

三 三 一 交 後

中

後場市況全

仙波代議士より

發行力保留認可申請

の收極と認識な得たることを整と清洲建國の電響性を痛感し於ける日支要人多數と框密室込んで思い切要人多數と框密室込んで思い切要人多數と框密室込んで思い切

作个更演께点強の衝動の大なる 感じく感でられ候各地な強るさ

成以上

殊

過去一箇年間に一億六千萬個の起

取締め一括有董単に積率して運送」の長さ、容観等が特に大なるもの。ここれに運送従来湍離の小口扱資物は幾日分も一するのが建削であるが、異物一個「車さして無蓋と、大きののでは、一直の一直の大きのでは、

濶大貨物に對して

ば倒れるわけだ。耐してその順 本品が打撃を受ける。甚らけ 考へである。それでは日南さ日

利益を考ふるこさによって、

なる解決が見んことな思まざる

平沼男

東を思ひ、現状を楽し、特來の ならの。唯々、双方が、従來の麼 ならの。唯々、双方が、従來の麼

說

ツ期 政権を 続る 獲得運動閣試合

軍部の動きを見て右往左往 凱歌はどこに揚る

は有力な候補者にが更に内珠方面は有力な候補者にが更に内珠方面 から軍部の与む者を持つて來て次な歌師の出来ることは難嫌である

内の各種勢力甲標まつてあるのは、作だと思ふ、共理由は現下日本圏 配じ来れば教後に遂す一 くのが本

使臣招待宴中党

央亭にて

日午後六時から丸の自中央家で光 ドル側レオン・シゲエンサ橋領部七七

生徒募集

近江町二両番場映集解補英和タイピスト駆焼

日本各地名産

店商井

〇四、九〇 着九四六五話零

酒清

特に本年は東京より腕利の料理人を招聘致しましたはアードー本三十五日

老虎

軒支店

理料御

△御同伴には

静かな美宝

▲郷業書によ

ゆび一切其外切像、腫物

續騰

時計店

東京日本楊馮本町四

値 下 兩切夕 15 7

廿本入三十銭を廿五銭に値下

(州内)

夏の晩翠御案内

鈔票保合

忠魂碑に立れ、忠魂碑の橋自一方不明になつた遊戲し五十鑑察組、もの三十四隻を除き日本建遊戲三一の主運像を經路観を所謂関煙せざること、つた膨脈のため懐線流下流で行、複変に努めてあるが鮮事締滅した。て恐らく黄海の寒寒酒養煙の動行、青年訓練所、前に掛け兩鱗魔海溪港一帯を城港、龍窓浦繋では連日銀山港を中心に「十二隻計十六隻は全家酒養煙の動行、青年訓練所、前に掛け兩鱗魔海溪港一帯を城港、龍窓浦繋では連日銀山港を中心に「十二隻計十六隻は全家酒養煙の動行、青年訓練所、前に掛け兩鱗魔海溪港一帯を城港、龍窓浦繋では連日銀山港を中心に「十二隻計十六隻は全家酒養煙の動行、青年訓練所、前に掛け兩鱗魔海、港である生産といる。

奉撫陸上競技會

運轉手ドロン 轢き逃げして

撫順軍の雪辱成るか

白玉山も不夜城化

て右間野に関しておりその都度

華やかな祭典風景

けふ旅順白玉山本祭

市既にこれが

てゐるが 関軍の障容を見るに振順チーム は彼然善語を持續と居り、これ に反心て孝天チームは各種目に 多数の新手選手を加へ一般さ整 静始防襲戦に追ばれるものご見 われてゐる

歌にラデオを公路する計畫をたて 歌にラデオを公路する計畫をたて

地方人に知ら

ことにし、二十日より気施する。 結果、農林巡過一次所を設備する

東天省門娘の厳い長に、よろし

く且つ速かに

率天管の海陽駅公署では、考究の 駅横鎖≪の時間になったので、

「四平衡」四平衡水泳アールは野本角中側デール関きの運のに近る 本身中側デール関きの運のに近る

百七十七グラム。

さればならな

着人吹養の質を示せる淅州國軍

北平の女優

四平街ブール

高州國中央銀行が今日まで勝入

する者に成分するさいふ布告を出ってあるに成分するさいふ布告を出っている。連合を

職第一小熊物では六日午後

収支好轉に努む

總局自動車

採算不利に惱む現狀

内地の日本

八は親切

人より

止義團訪日團の感想

英姿を拜り



連日の降雨

不潔にならの様注意の立札を建

だ少く又大連に於けるものさ浦洲 經營 安であるが總局さしては突通風末 展中

訓友誌を發行し

心身練磨を圖る

四平街靑訓の決議

関を拡順防護側の基金へ管附

朝鮮黄海岸に颱風

漁船十六隻呑まる

當局連日の大捜

| 重ねてゐたがやうやくその大概な | 磯の登世に即り極て本年度の質符機領につき検討な | 運動委員會を設け無限を設定を設け無い。

灰礦讀本を發行

極く平易に所謂を即及び確而院

社員の常識涵養 撫順に常識涵養委員會

縣人會聯合運動會

各違つた郷土色を織出さうご

奉天で初めての運動會

かくて水響単放縦出の傾向に響み 響展単放縦では微単近の緊張さ災 でならた

礟路總局、緊張警戒

「無順」 無順炭礦において取扱つ 変数が必可減の五月中における受 素及び必可減の五月中における受 素及び必可減の五月中における受 が立むうけたさはいへ頗る好調を かさなうけたさはいへ頗る好調を

声現る

三八一トン貯炭六、五六

大日午前一時一年本署に引掛げた の設備不完盛にて之に健はの場動に要して、 大田・ 大小の食師、商店数知れて、其の安東署から木下警部以下廿名と利 技工資本しが軽くなかつたが継収を東署から木下警部以下廿名と利 大小の食師、商店数知れて、其の

り、從梁貞与百餘名を揮し答果

標になりました。

州の養展を見透し、鑑覧に今日の書 つていいて来ました の一角に交具薬を開いた事に、 たが、常に殿父は努力さ英節に依

殊に常原職教した時、神主れり

込んで、西店にゆしい借小屋に起 め大阪の仕入部が同業者間に認め 收めましたが、この支店設置のた し、支店を開き棚舎なる利益を

られ、今日の赤礎を築き得たので も時堂を得たもので、わが学界 めの大震災の直後東京進出は最

も最も有利に英雄づけられ、経々

下 此の業務に歌して、金藤戦を関けて継楽比一同と協力、自ほ一層の を くっぱい では、 これも一般に 全後の 学家方針が 宜しき食さ 能に 機能 なる 古田 洋行さなったもので これも一般に 全後業 単の 勢力 き 臓

大正十

の土地でもあり十日この認念すべ **哲園なおしまで向上進歩を除る髪** 大阪本店は叔父様と弟とに佐り 月には盛大に

滿は小麥代作 農業恐慌對策が論ぜられた

奉天にて

貴院議員座談會中

になれば日本蔵は朝鮮で打撃な生産されないさ見られて居り、生産されないさ見られて居り、中産されないさ見られて居り、生産されないさ見られて居り、生産されば満洲人もごしく食用くなれば満洲人もごしく食用

撫順炭受拂

共の他を武式に記念

者さして脱りな果け 長内田憲氏氏を司合

なる大叔被会を暴行 品の贈集を行ひ鑑大

税典の決定である。

、日露殿後後日 定く、満州間数

支旗に於いても大

五年に至り株式会社の組織と為し 城に大阪に水底を東京、大連、奉其の共職は経々强固さなり警案局 ので、大連市の登成史上に省典

いて近回。 いて近回。 に立ち、自力で一生自由に基した。 に立ち、自力で一生自由に基した。 に立ち、自力で一生自由に基した。 をはなるが、家庭は苦海、もうで 大連市に於ける内田洋行は、著 る魔义大きく真に陳賀すべき事

 古月を以て一村を組織すると
 「富田市で逐次信選すること
 「富田市で国際では、第三年日から五地の配父と放政交換で二人にて
 「富田市で国際では、第三年日から五地市では、第三年日から五地市では、第三年日から五地市では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第二年日では、第 き社長内田徳成氏指線のもさに、 主の遺類を継ぎ載心業務の要 き日を大阪に負けずにより盛大に

の上共皆様の御指導さ御援助を

ではれば日本政は朝鮮で打撃なる。 をいする、満洲で来を作るやう をいする、満洲で来を作るやう ではれば日本政は朝鮮で打撃なる。 をいする、満洲で来を作るやう ではれば日本政は朝鮮で打撃なる。

し炭邪に依然と対導を禁してある 後音楽に発航して見襲と共に党替責行権加了近来にない貯炭減を流 たる事は歴報したる所なるがそのに出炭を開始し、煙鯵に常順後も の注入を受けんさて最少を放てし

創業廿五周年を迎へた

内田洋行の

つ連續域の株式会社内田洋行は本一億か二千個内外の資土げどかなか戦態で勝する一支具店を削りに持っすが、常時にお話にならの程で月明治四十三年大連市常隆町に塞っき、やかな交具店を開業したので 發展ごその現狀

自殺か他殺か

通譯の怪死

康平縣公署の金氏

年を以て創立二十五周年を迎へ、

で (像が二千個自外の資上げしかなかったのですが、配父に一意楽心不ったのですが、配父に一意楽心不

げたが、常大連支庇では常地罷家 駅今日資本金三十萬國の會社さな、先に大阪本庇は鑑録まテルに於て 隊の勢力を續け戦後滿洲の隊登の先に大阪本庇は鑑録まテルに於て 隊の勢力を續け戦後滿洲の隊登の

者數十名な老虎雅子

をの他によって神水知の事と思ひますか、ますから私は増火管制に関する其 くれ

人も居らないで信じます。それり、そんな時度な人間は恐らく

方も同じであるが照射面積が普通のものより膜いのであるから瞬に

ンデリヤ式のものです

詩の女・夢の女

容英、種にここにも許順な間に

◆報信の原記は不明で何能を以て見ります。

鈴木春信の/錦籍/

「ランブ」 た取換へる方法であ な減らしたりまたは燭光の少い な減らしたりまたは燭光の少い

MEGですが、これは恋看の用念透過率の程度 次はBの

及てほのかに女の世界をのぞからて で、鉄木総信の美人盛はそれに一 で、鉄木総信の美人盛はそれに一

東寺の屋根を

所ぶおせんの

※答禅に「職」第一に置かるべきし

十七叉は五十三さ継続

伴野英二氏談

七

具體的燈火管制法 その具質の説明を致じませう。

ト以下は一枚、それ以上の電磁に t・場合は黒の原地の木総で二四ワッス・い 競火にするもので先づ普通空の サ

受能を防ぐ方法は次の四通りあり 炒火管駅のために上室に繋し光の

であま

所戸や窓種かけて都屋の中の明なもので覆ぶ方法。(C)建版 (B)巡徹「ランプ」を直接不透

その悪れ下がつた部分を検索で或

帯は

電分は

和二重程度の

ス風の小型のもの

たものが効果能です。うかもの 者い方ならピンクの無地政に自地を白、続さ白さいつたカツキリ 長襦袢は白無地が一番上品ですが 長襦袢は白無地が一番上品ですが というですが となってもなければい

常揚はうす色の無地、常思し見ばつたいのは避け

美味し

一圓の物が十七錢で出來る 經濟的な家庭製法

スクラ

を三人以下で組めば他は動

凉味を第一の

夏のお召物

お着附け心得帳

襟は 特別に配の扱った方 若い内なら治る

やても死亡してしまふのですから

奥さまの手帳

油虫の職除法

學校だより

熱電

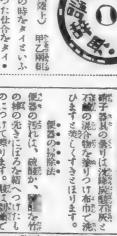
7



がひごく出ばつてゐるのて友達。

漏洲緬羊の將來

新刊紹公



同點で終った仕合をタイ・ ダイヴィング(水

ては続しい、シャ

前歯が出てる

遊が家にかへつて行くさまた

な、色の付いて

高級製圖用

事

務

用

高級色鉛筆

【各地文具店にあり】

かはつてゐることは四月から十一ものは一軒もないとはよく見かけた。ん違つてゐる。 沙干狩の獲物の

Ξ

三星パレツト、

水筒、筆洗、畵筆

Ξ

デレヴィジョン

・ 所字鑑で十日午後客時中から東 ・ 所字鑑で十日午後客時中から東

滿日俳壇課題

香港のひざいのはかつかの

Ξ

Ξ

Ξ

品產國良優定撰省工商



星 水

元 造 製 所造製具繪星三 町西·谷下·京東



性

造 西広場中央舘二階

SCOTCHWHISKY TAKU & CO 徽花造

散性下疳

製造元

東京

トンポ鉛筆製作所

满鮮及關西代理店

店 福 井 商

東京歯科医学士 」 「堀」内 宗 堀内 家 電話22990番

町野平區東市阪大



入八九

٤

選祉

【其六】

年前の部 中前 自九・二〇至一〇・二〇 満州國 等曲 観長式賞说 (孝天に同じ) 本手 午後の部 「・三〇 演説(清語) レコード 「・三〇 演説(清語) レコード て」 (ヨン・ボード

暗は泥のやうに遊んでゐる。 二人は、怪異に屹さなつた。

大・三〇 ラデオ機関 大・三〇 ラデオ機関 大・三〇 ラデオ機関 大・三〇 ラデオ機関 大・三〇 (東京より) 赤近山和等政務次の ・一〇〇 (東京より)

日

船

(152)

11 11

日本棋院

春季

東 キ キ 大 ま を 東 本 大 ま 本 大 ま 本 大 ま 一 変章

セン

一を懸夢に続し、それまで植ってされまりました。この音鳥のので明したさうで御座います。

(局六第) へほにはる

対局者の言葉 (馬)先番 (馬)先番 00000

したいまといま名乗っては樂。 「うは、ト、ト、ト、ま名乗っては樂。」 「奇怪がなの人間・何者ちや?」

金快しました

り薬取めにし

るくなること

方

心膜衰へ息切れが んなによくなつた

も寒をのんだ事 でより全く平断地である内に、なんないで、更に今度は徳田県を があてついけたところ、十日日 で、サインで、大田県の東分がよくなつて で、更に今度は徳田県を があてついけたところ、十日日 ものや坂路の上り下り位 視めの苦痛はどこへや

オドラマ(大連

でと変んで居ります。 でと変んで居ります。 誠に国 でと変んで居ります。 誠に国 でと変んで居ります。 誠に国

電気「後セットに総響し二時間後のA電池(二十八アンペア時)充いのA電池(二十八アンペア時)充いのA電池(二十八アンペア時)充いのAである。

る内に又電壓降下 二十分程聴えてゐ

家が知ば

Ø

今年の多こそは

寫

75 確

實 70 影いことには

用法 至川南東コップ 四分ノーのグレーアジュースに冷水さ水さ角が精 地度、レモンの一片を浮 でれば南結構。

を入元 を入元 を入元 を入元 を表語の四二五三番 の四九三番 の四九三番

直りには過ぎるの必携業し

實によい物を見付けた 體の弱い人に

の方が野くはしませんかり 州天龍峡の自然の気候風土の中にのは、なかく、ありませんが、倒 美味くて感じがよって そして本質に身種の質めになるも り興賞なる経濟が日に配き伊那の

んだお方は『奇妙によいものを見 ひくを、芳香芝味で、上等の 力の基となって、乗るヤク り、食べものもズン 変成の方は、日一日、身體中の生 五重六階にしみわたり、身體の画 朝夕一パイづつ 象を生じ能力がつき、それが回復 活機能が活機に働く様になり。

先まで活・一点になって、他間で が付となり、射機が肥り、手足の ・一点ではとなり、射機が肥り、手足の 文夫になったと表ばれつよるりま

次の様な人には 何によりもよい

Ø

●貧血冷込みの人 0

陸軍藥局方收載 (緬原症) 急性。慢性淋病・膀胱炎・尿道炎・消渇等するも胃腸障害又は腎臓刺戟を起さず、淋菌を滅殺し尿を清澄ならしむ、持線服用 " south



英國製高級煙草

た。 ・ は、 、 、 は、 、 は 本の下さい。東京出張所へ代價に途料として 特許鹽澤家菱命酒の文字に特に御注意の上御 一類三順徳用四風です。近頃ニセモノあり専責 大阪感形をし し、元気をよして能率をお進め 一層頭をよく Kodak Film Pack

各 A電池の充電が不完全で

ハガキで動



ると同時に光輝部及暗部のラテイルを繊細にチユードが極めて廣く豊かな肉乗りが得られゴダツクフヰルムは常に品質が均等でラテイ コダツクフヰルム

獨特の優れた味を持つて居ます。 以になった方は其の豊麗な階調美と雅趣に富 描寫する性能を有し一度此のフヰルムを御使 んだ柔か味とに永久に忘れることの出來ない

用各九十銭を添へてお送金下さい。

フイルムパツクロールフキルム

大連市山縣通百八十一番地 ーストマンコダツク會社 各サイズ全部取揃

言品なら何んでも揃ふる

のみな

Welch's

Grape Juice

一味ウェルチのグレープ・ジュース (ingli) 酒精となって



会うした西田治三氏は新京暦ホーニの大任を無事に果たすため我興召帰軍の連務重章さして常任を開土は突々語る。 ニの大任を無事に果たすため我の精神の主義を表する。 この大任を無事に果たすため我の情報に対して

東南市に徹入したさの情報に接した市内に徹入したさの情報に接いた。 大市内に徹入したさの情報に接した。 大市内に徹入したさの情報に接した。 大市内に徹入したさの情報に接した。 大市内に徹入したさの情報に接した。 大市の最近なのに表示が表近家の場所は、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田の一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田ののでは、大田のの一郎のでは、大田ののでは、大田ののでは、大田の一般では、大田ののでは、田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田のいのでは、大田ののでは、大田ののでは、日ののでは、日本ののでのでは、日本ののでは、大田ののでは、大田ののでは、日ののでは、日本ののでは、日ののでは、日ののでは、日本ののでのでは、

身應首子新事任德學

於ける反滿工作にも大々的に力 テロ行為計畫で同時に衝次回外に

代表を招待

國葬參列五國

來るのは別さして其中心さなるべへで登園各地に地方的のものが出

てあるから是非全国

に参列した英、米、佛、伊、支五に参列した英、米、佛、伊、支五に参列した英、米、佛、伊、支五

哀れな凱旋兵の

家に集る同情

滿日婦人團の慰問ご

奉天から匿名の寄附

殿下の有難

思召に感

「新京特置七日報」、今日秩父宮殿

郷縣にかけて部下一千な有し暴威

衣心の警滿疏楽に滿州國内に潜入

軍部内でも海軍がおさなり窓現な陳情が発動して居る、また雷の海

に吉田穂官が墓前に供物を供へた。を所続は六日午前十一時半野かに墓所続は六日午前十一時半野かに墓が続し奏樂神に、東京六日登岡通道を供った。

北満の河川氾濫

錢家店附近一面の海

これ等の意見其中、

故元帥墓所祭

殿下を拜し

八十五媼の喜び

西田専務車掌らの謹話

市民の無誠な

感激

に更ける夜

ある、殿下の河水満に刺戦された 青年歴生は将来満洲國において活

東鄉公園造設

のあたりに押して日本文化に深いよって経々繁固を極めた満洲國の 常年歴生は殿下御来浦の光宗を目 常年歴生は殿下御来浦の光宗を目

奉天に潜伏中

を開等を敷設しやうさいふ議が登 徳を追認し永久に記念するため観 徳を追認し永久に記念するため観

か、場所は矢張り東京がいゝだら恋嫉を飾るさ云ふやうな家はごうですること、鮑像を中心に小公

英國のドレーヤー大将、米國の アッパム大将、佛蘭西のリシヤ アッパム大将、佛蘭西のリシヤ アッパム大将、佛蘭西のリシヤ がある。 「神子など、東郷の王朝廷少将な はの事を大使館附近官等

匪首捕はる

高粱繁茂期を待つ中

H

并上香木氏は秋父宮殿下の御先樂

任を果

殿下御來滿に

熱昂まる 却て氣遺はる

本田參事官無事

救援隊の安否

新京、哈爾濱、チチハル、承德)

の護し

9

戦會でも假り、その戦歌を語るや 一戦かりをして一つの委 一戦が上間化せば総合して一つの委

四大忠靈塔建設

が読兵さしての難々しさら来の間が読兵さしての難々しさら来の間を11年一家に難し満日婦人願からは11年一家に難し満日婦人願からは11年一次で大日病味を見舞び金市は軽重三人が大日病味を見舞び金市というない。

二帆船顛覆 强風のため

乗組員は無事

工材丸(三六喇)学網丸(二四喇)が市内近江町融井租所有帆船第十二

より歸任の途に就いた豪活版本事天特慮七日襲】去る三日郷南 名に途中匪賊の撃

趣館の締成り取下劇く解財を察りついありますが、本社でもこの義學に滿腔のたらしめんため新京、哈爾濱、チチハル、承徳の四ケ所に大忠經濟忠勇なる英靈を慰め且つ其の功績を永遠に記念し滿濛の謹り財剛武人忠樂觀鈴館では、帝國の生命総輸保、滿洲國越路の大製に庭園の鬼さ化した幾多の財剛武人忠樂觀鈴館では、帝國の生命総輸保、滿洲國越路の大製に庭園の鬼さ化した幾多の

簡者各位の熟蔵なる賛助な御殿ひしますてこれを後援する事でなり、味噌噌金な左の町

該衛附金な左の要項によって取扱いこ

整要整院にて加原中の同君へ届 送つて來たので本社は直にこれな。 等りの海上で温風のため顕微、同級に諸洲國際五風を添へて本社宛。 午前八時大孤山より大連に終二里、建に認ふ論中繁十二工候延に五日野山、日 「奉天にてせん」 それん (金州より残な消殺して大鷲めたが更に七日「奉天にてせん」 それん (金州より残な消殺して大鷲めたが更に七日「奉天にてせん」

監衣社の密偵

北支非戰地區

木配関係収扱分は紙上に登表 木趾專業部。各支肚支崎

任す

度。 答。 受。 受。 答。 理。 阴。 付。 附。 方。 医。 期。 全。



您よあすから開始

社芸能式海野球職は一大九日から宇宙の幕が 言ふ「四分六の戦ひて紫影勝ち」 本語ならの得るか、然親ファンは か 一評、職を置々さして戦機上と、 實業果して劣勢か

から五日上旬港線運転なくは 素着年齢和はるも縁々元線、 素着年齢和はるも縁々元線、

铁一名意殿下一門的 龍 汉使官邸了

大様に、井上な歌門の遊覧に悪した を言ふハンデーを開な野鹿なまわして 大様で、井上な歌門の遊覧に悪した を言ふハンデーを開な野鹿なまわして 大様で、井上な歌門の遊覧に悪した を言ふハンデーを開いの遊覧に悪した 大様形の選都は管製館にさつての離所である の選都を阻止すべきであったらう

者で自動車な使用登山する向は道の人日散順に送山搭機祭幣日の影秤 招魂祭参拜注意 本。

山岸の好調



度の貨業圏は昨年度

(M 學) - . .

である、右側の暗影を確へる な響の第一線に立ち活動するもの 攻撃の第一線に立ち活動するもの で思ばれる、病の脈弾の不出場は とままれる。 川の好守を共に営業攻防の家一線

あらうご期待されて居る いったが、けふ行はれる第二回版は はより以上の日熱的ゲームさなるで

新鮮な流行戦と名作のドラマ化

大尉の娘器の

特勢はまだかよ日は暮れる 騒は**整れるトラックは沈む** 今日の瀬景ちや野響なす。 可愛いわが見の夢し見る (以下同)



・して福峰の井筒、井上にやゝ不 野線、鈴木先づ無臓

の く意外の複雑を整き懸すのである。 と意外の複雑を整き懸すのである。 るころである。 のでは、これである。

漆洲チームの脅威

あさは織むさ笑って死んだ

「新京特電七日朝」かつて東漁遊 一部を振搬地さして満洲国成立以 一部を振搬地さして満洲国成立以 に於て表情金津販線器需額の腕を に於て表情金津販線器需額の腕を 唐聚五收監

いては特に日本語の研究熱的感

(可認物便鄭禮三第)

銅像を中心

単校た卒業後日本語の私想に 餘名さ柳せられて居り中には 除ケ所の日本語學校の生徒は

育職介館内に脚窓塔を膨むする事 於いては御大艇脚窓のため登場数

奉天に記念塔 典を記念

ある

とて時の概念の書及に売める響で が自教教職の手に居住する一般市民のた教職の外に居住する一般市民のた教職の外に居住する一般市民のた

募集締切期日

親苦の覚なわげて同二時中能会 赤い映畵

スペン・アンで登見 に、ハルビン特電六日製 管地製炭 の色彩を範囲にせる高等経繁一、 に、ハルビン特電六日製 管地製炭 の色彩を範囲にせる高等経繁一、 される赤い映画の取締に血眼さな 小樹五、六年の滿州唱歌詞の二種に される赤い映画の取締に血眼さな 小樹五、六年の滿州唱歌詞の二種に される赤い映画の取締に血眼さな 小樹五、六年の滿州唱歌詞の二種に

衆

狂

續いて

日滿蹴球戰引分け

催されることとなったが日本チ

3--3の引分けさなる

・ ましまして内田(中郷)欠渡、 ムは過去二週間に重るグラスコーをれたがシーソーゲーム を 織け 英国の批評家も亦日本選手のフォームによるがある。 これに対してたり 大き は過去二週間に重るグラスコール は過去二週間に重るグラスコール は過去二週間に重るグラスコール は過去二週間に重るグラスコール は過去二週間に重るグラスコール は過去 に 田連(総散)三氏転掘の下に腕が、トの練習に充分・
「動場において内田(主物)久道、 にもしまる。 はいまる はい 大田 生物 久道、 になることと 線球形は六日午後五時十分大速運 能されることと 線球形は六日午後五時十分大速運 能されることと 好ゲ

計畫を旋らす

通連続され銭家店附近は一郎の海 「春天特電七日韓」連日の窓雨の こなり人家が転々と浮んで居る機 によれば電流器々とし は機能にあるのである、尚ほ河水 にりの機線によれば電流器々とし は関後日頃までは増水するものさ に明後日頃までは増水するものさ に明後日頃までは増水するものさ に対象が、 大部、隆華、工華の滿人諸チーム よけピックアップした関東州チー 先取の得職を奉ぐ、これに被より強引に攻めたて五分 をなる。殊に山野のフォームは最近 を動きが難で激洲チームの脅威されて である。殊に山野のフォームは最近 鳥取縣の大火

襖紙紗織

阿波屋機能店

) 發明品新

がきで申込の事業に用いた。

壁天井紙

② 松本紙店へ

特約店募集

を全制立 大阪西島江戸郷南道二丁目 大阪西島江戸郷南道三八十八常五三〇八本天加茂町十六常五三〇八本天加光・スキン 東店 木村、江、石、田・台 東店 大村、江、石、田・台 東京 市 二丁目

一大大会社の大学では、 一大会社では、 一大会社で 一大会な 一大会社で 一大会社で 一大会社で 一大会な 一大会社で 一大会社で 一大会社で 岩井溫泉延燒中

芳子閣ホテル
常都の中心
大学・関ホテル
を経典明三六三六
を持ち、

我克は襲はる 仁丹石鹸

どんな

艶をつくる お肌にも

寄附者芳名(六月七日) 京太陽木テル新京ダイャ街永樂町一丁目角新京ダイャ街永樂町一丁目角

基金經路建設

三十圓 大連商品取引信託株

直 大連西通池田小兒科

小崗子質屋組合田村

づれへか逃走

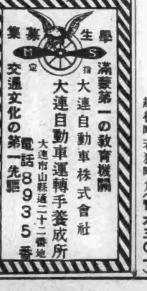
化 粧 品屋 擴張電話四九七九番室內電話設備完全 小泉專治商店 小泉專治

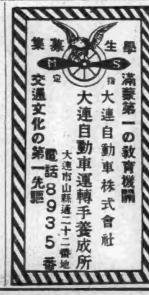
梶田小兒科醫院 越後町岩狹町角(電六五〇七)

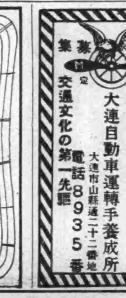
累計一萬四千八百五十

大連山縣通馬場耐之 大連東公園町中矢清七 大連對馬町北島保

子は須田千代子の誤に付き訂正、六月七日附養表複田訂正、六月七日附養表複田





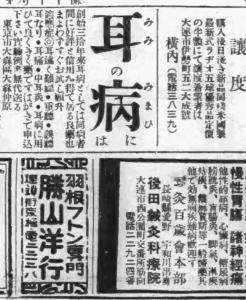


記さらや黒河へ是が非て上記り流州鐵路は千里

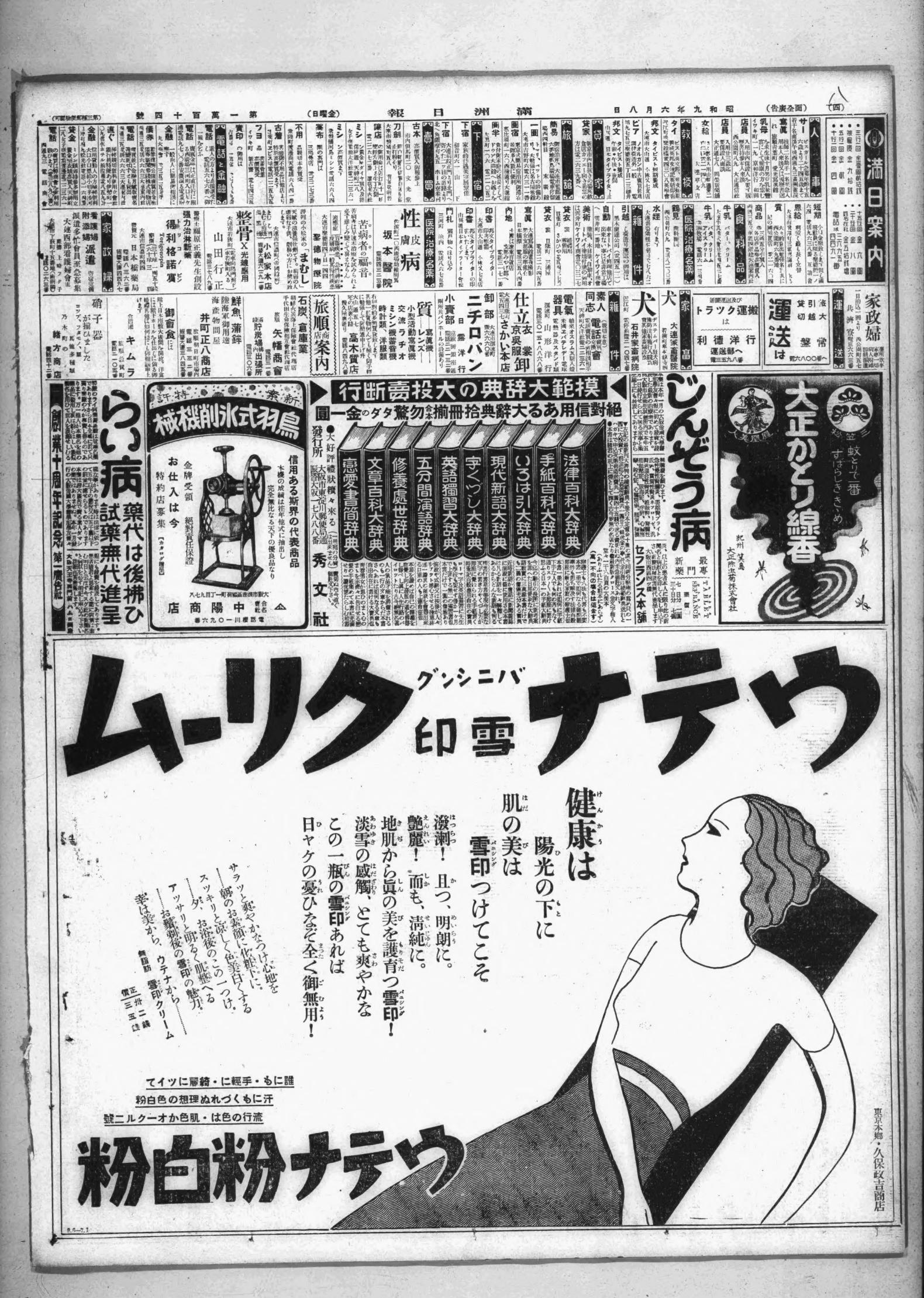
ヨイトコチョンデ

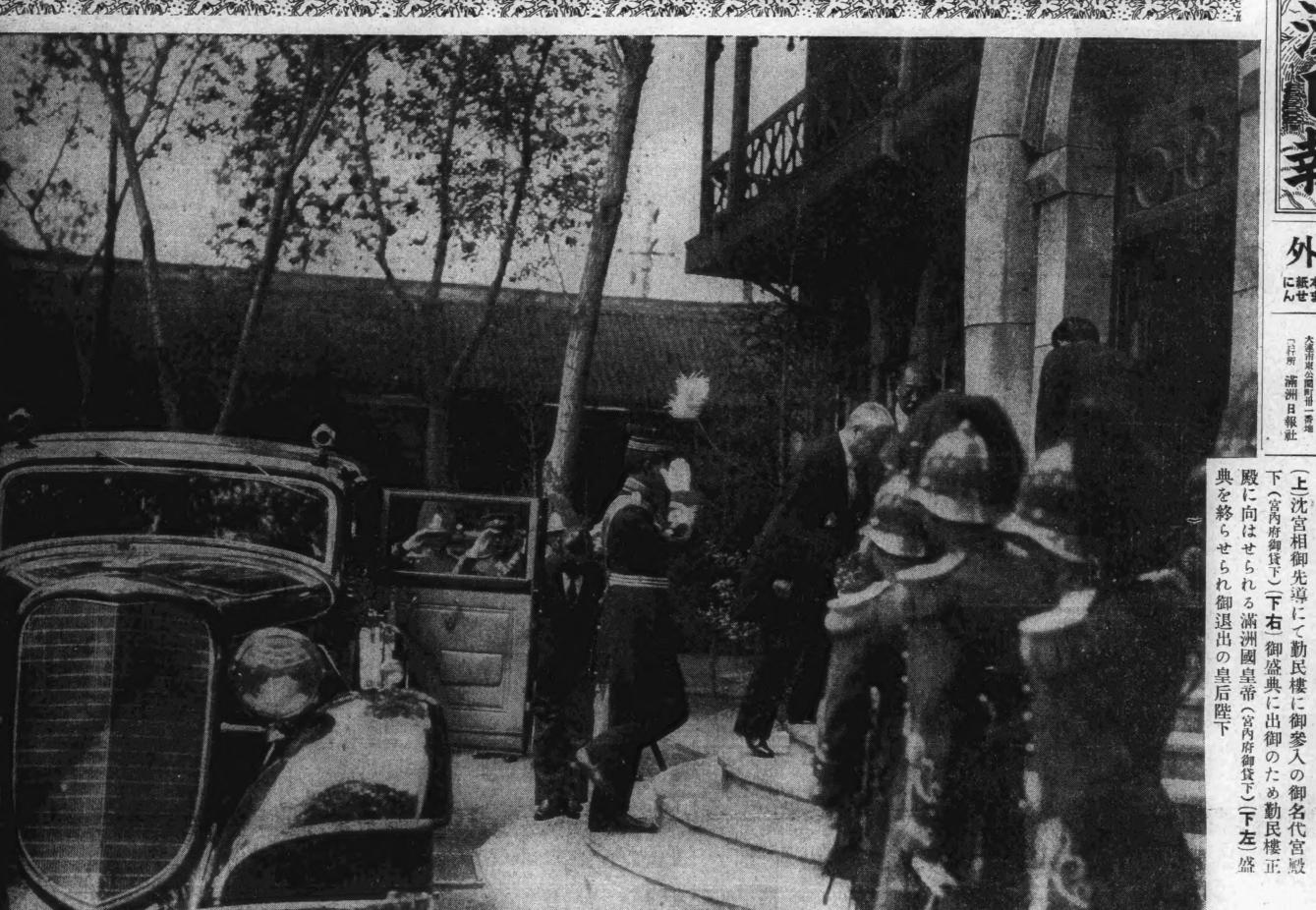






慢肺腦理現 性尖脊髓 質防 膜 諸婦 動 静 計 於 大連市西公園町交番所筋间 大連市西公園町交番所筋间 大連市西公園町交番所筋间 大連市西公園町交番所筋间 大連市西公園町交番所筋间 大連市西公園町交番所筋间







外號

御親書捧呈の御盛儀

